



2025年度 事業報告書

2025(令和7)年4月1日～2026(令和8)年3月31日



学校法人 聖マリアンナ医科大学

建学の精神

キリスト教的人類愛に根ざした「生命の尊厳」を基調とする
 医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕し得る人間の育成、
 ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていく医師の養成

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 (概 要)
1971年1月27日	学校法人東洋医科大学設置認可
1971年4月1日	東洋医科大学開学(入学定員80名)
1972年7月1日	中央電子顕微鏡研究施設設置
1973年4月1日	聖マリアンナ医科大学に改称(入学定員を100名に増員)
1973年6月11日	中央実験動物飼育管理研究施設設置
1974年2月12日	大学病院(本館)開院
1976年1月1日	共通放射能基礎医学研究施設設置
1977年3月30日	大学院医学研究科設置認可
1977年4月1日	大学院医学研究科開学(入学定員60名)
1979年3月24日	看護専門学校設置認可
1979年4月1日	看護専門学校第1、2看護学科開校(入学定員40名)
1980年7月1日	大学病院(別館)開院
同	救命救急センター開設(大学病院)
1980年10月14日	視聴覚教育センター設置
1983年7月9日	メディカル・フォトセンター設置
1986年4月1日	看護専門学校第1看護学科(入学定員を80名に増員)
1987年5月25日	横浜市西部病院開院
1988年3月31日	看護専門学校第2看護学科課程廃止
1988年7月6日	MR棟開設
1988年12月26日	大学院附属研究施設設置
1990年10月4日	附属研究所(難病治療研究センター)開設
1993年11月26日	大学病院特定機能病院承認
1994年5月16日	夜間急患センター開設(大学病院)
1995年9月1日	看護専門学校の看護専門課程より医療専門課程に名称変更
1996年10月5日	特別教育施設「聖堂」献堂
1997年4月1日	医学総合情報センター(図書館、視聴覚センター、メディカル・フォトセンター)の3施設を統合開設
1997年11月1日	大学病院臓器別外来診療体制へ移行
1999年4月1日	6講座の統廃合(大講座制に改組)
2001年4月1日	医学教育改革により、教育改革推進室を新設。学務部と医学総合情報センターの一部を整理統合し、教学部に改組
2001年8月1日	医学総合情報センターを医学情報センターに名称変更
2003年4月1日	講座及び学科目の再編成、大学組織改革及び事務組織の再編成
同	臨床研修センター設置(大学病院)
2003年6月25日	昭和薬科大学と教育・研究の交流に関する協定を締結
2004年11月1日	知財事業推進センター開設
2005年4月1日	大学院医学研究科の4専攻を医科学系専攻に統合し名称変更
同	大学基準協会認証評価認定
2006年2月1日	川崎市から指定管理者として指定を受け川崎市立多摩病院開院
2007年1月22日	日本医療機能評価機構認定
2008年2月6日	機械棟(エネルギーセンター)開棟
2008年4月1日	教育棟開棟
2008年6月16日	東横病院新規開院
2008年11月1日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター開設
2009年2月1日	キリスト教文化センター開設
2009年3月2日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック開院
2009年4月1日	医学部の入学定員を110名に増員し収容定員を660名に改変
2010年4月1日	医学部の入学定員を115名に増員し収容定員を690名に改変

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 (概 要)
2011年4月1日	総合教育センター開設
2011年12月16日	高神大学医学部(韓国 釜山)と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2012年4月2日	マリアンナさくら保育園開園
2013年7月3日	明治大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2013年11月13日	学校法人東京純心女子学園との相互連携に関する合意文書を締結
2014年4月22日	上智大学と大学間交流に関する包括協定を締結
2015年1月26日	江原国立大学医学部(大韓民国)との大学間交流に関する協定を締結
2015年4月1日	男女共同参画キャリア支援センター開設
2015年4月1日	臨床研究データセンター開設
2015年11月9日	同済大学医学院(中国 上海市)と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2016年4月1日	情報部門及びIT戦略推進室設置
2016年7月1日	田園調布学園大学及び川崎市宮前区との連携・協力に関する協定を締結
2016年10月6日	ハワイ大学医学部(アメリカ ハワイ州)との医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2017年4月1日	感染症センター開設
2018年3月23日	中央大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2018年4月1日	国際交流センター開設
2018年4月1日	メディカルシミュレーションセンター開設
2019年3月11日	国立成功大学(台湾)と大学間交流に関する包括協定等の締結
2019年4月1日	ソウル大学校附属盆唐病院と聖マリアンナ医科大学病院との国際交流協定を締結
2019年6月12日	ハノイ医科大学(ベトナム)との学生交流プログラムに関する協定を締結
2019年8月1日	デジタルヘルス共創センター開設
2019年8月1日	大学医師会設立
2019年10月31日	コンケン大学医学部(タイ)との学生交流プログラムに関する協定を締結
2019年8月1日	看護師特定行為研修センター開設
2020年4月1日	リハビリテーション医学講座、緩和医療学講座開設
2020年6月4日	朝鮮大学医学部(韓国)との学術交流協定を締結
2020年7月30日	NITTE大学(インド)との学術交流協定を締結
2020年8月1日	教学IRセンター開設
2020年12月9日	ピッツバーグ大学との学術交流協定を締結
2021年4月1日	「法務・監査室」を「内部監査室」と改称
2021年6月10日	神奈川県立保健福祉大学と連携協定を締結
2021年10月14日	本学創立50周年
2022年2月28日	「学校法人聖マリアンナ医科大学 ガバナンス・コード」制定
2022年4月1日	教学部「入試課」を設置
2022年4月1日	「総合企画室」を「総合企画部」と改称し、「理事長室」を新設(「企画調査課」は既設)
2022年4月1日	「主任教授」制を導入
2022年4月1日	「男女共同参画キャリア支援センター」を「ダイバーシティ・キャリア支援センター」に改称
2022年6月1日	日本医学教育評価機構(JACME)より「医学教育分野別評価基準」適合認定
2022年11月26日	大学病院入院棟竣工祝式・内覧会を挙げる
2023年1月1日	大学病院入院棟開院
2023年4月1日	「病院経営管理室」を「病院経営戦略室」に改称
2024年3月31日	東横病院閉院
2024年4月1日	大学基準協会より大学基準適合が認定
2025年1月6日	大学病院「外来棟」と「エントランス棟」が開棟
2025年1月10日	文部科学大臣より改正寄附行為が認可
2025年10月1日	医学情報センターに「医学研究室」を開設
2025年11月12日	アルバータ大学(カナダ)との学術交流協定を締結
2026年3月27日	カエタノ・エレディア大学(ペルー)との学術交流協定を締結

目 次

I. 法人の概要

1. 法人の概況	1
2. 設置する学校・学部・学科	5
3. 収益事業	5
4. 役員(理事・監事)および評議員関係	6
5. 大学の主な役職者	8
6. 教職員数	9
7. 法人組織図	10

II. 事業の概要

1. 教育・研究・診療活動の状況	11
1—1 大学病院	13
1—2 西部病院	13
1—3 多摩病院	14
1—4 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック	14
2. 学生在籍者数	15
3. 入学試験状況	15
4. 国家試験合格状況	18
5. 博士(医学)の学位授与状況	18
6. 補助金交付状況	19
7. 主な施設・設備の更新等	20

III. 財務の概要

1. 財務の概況	21
2. 学校法人会計	22
3. 収益事業会計(多摩病院)	30
4. 附属病院等の状況	31

I. 法人の概要

1. 法人の概況

(1) 改正私立学校法への対応など

2025年度は、改正私立学校法の施行に伴う寄附行為の全面改正を行い、これに基づく理事・監事および評議員の改選を実施しました。さらに、改正私立学校法が求める内部統制システム整備の一環として、「内部統制システム整備の基本方針」を制定し、これに基づき「理事会運営要綱」および「評議員会運営要綱」を新たに制定するとともに、「役員報酬等規程」および「監事監査規程」の改正を行いました。今後は、これら学内規程に基づく適切な業務運営の推進、ならびに関連規程等のさらなる整備・拡充を図り、内部統制の一層の強化に努めてまいります。

また、教学面においては、2025年度をもって任期満了を迎える学長の後任人事に係る選考を実施しました。「学長候補者選考委員会」による多面的な評価を踏まえた選考結果に基づき、主任教授会において慎重な審議を重ねた結果、信任投票を経て、北川博昭学長の再任が決定されました。

50周年記念事業の一環として継続してきた菅生キャンパスのリニューアル事業は、最終段階となる旧大学病院本館の解体・跡地の整備を残すのみとなりました。なお、最終的なグランドオープンは、2027年春を予定しています。今後は、新たな事業として、看護専門学校の移転や医学部本館の建て替えなどを順次計画していく予定です。

(2) 医学部、大学院および看護教育

1) 医学部

2024年9月に日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価（追加審査）を受審し、大学自己点検・評価委員会、医学部自己点検委員会を中心に対応した結果、2025年度に同評価機構の世界医学教育連盟（WFME）の国際基準に基づく「医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.32」に適合していると認定されました（認定機関：2025年6月1日～2029年5月31日）。

入学者選抜の広報活動として、6月28日（土）に高校生（1～3年生）、保護者、進路指導教員および予備校関係者を対象とした「令和8年度学校推薦型選抜説明会」を開催し、117組184名の参加がありました。また、7月19日（土）、20日（日）の2日間で「令和7年度聖医祭・オープンキャンパス」を開催し、併せて557組1,128名の参加がありました。

各入学者選抜の志願者は、学校推薦型選抜（一般公募制）60名、学校推薦型選抜（神奈川県地域枠）13名、一般選抜（前期）3,007名、一般選抜（後期）1,212名、大学入学共通テスト利用選抜444名となり、総志願者数は4,736名となりました。

第120回医師国家試験の結果については、新卒合格率91.3%、既卒合格率81.8%、全体合格率90.4%という結果となりました。

国際交流については、2025年度の学生派遣は25名、留学生受入れは14名でした。また、2025年11月にカナダのアルバータ大学との間で、学生や教員の交流、さらには研究協力を目指す合意書の締結を行いました。また、低学年のうちから留学へ向けた関心を高めてもらうため、2026年3月には研究室配属海外研究コースの派遣先であるマニトバ大学（カナダ）の教員 Dr.Thomas Murooka をお招きし、学生へ向けた講演を開催しました。

2) 大学院

第1学年を対象とした「研究指導計画書」を作成したため、2026年度入学者より実施する予定です。また、大学院学位記授与式では優秀論文者3名および優秀指導者1名を表彰しました。

3) 看護専門学校

2025年度は、法改正への適応と教育体制の整備、志願者確保に向けた広報、そして国家試験対策の徹底に取り組みました。

まず、制度面では改正民法に準拠した「保証人の極度額明記」や「GPA制度」を導入しました。また、学校教育法の改正に伴い、呼称を「生徒」から「学生」へ変更。これらに伴う学則変更を文部科学省および神奈川県に申請し、承認を得ました。

入学選抜においては、看護専門学校を取り巻く厳しい志願者動向を鑑み、一般入試Ⅳ期を新たに追加実施しました。その結果、志願者総数111名を確保し、最終的に76名の入学者を迎え入れることができました。入試広報では、高校生や社会人など多様な背景を持つ受験生が参加しやすいよう、集団形式のオープンキャンパスに加え、オンライン説明会や個別説明会を多角的に展開しました。これにより、延べ235組597名の参加をいただきました。今後は入学生充足率の更なる向上を目指し、試験時期や科目の再検討、SNSを活用した戦略的広報、地方受験生へのアプローチ、および入学後の経済的支援の充実に注力してまいります。

教育成果の要である「第115回看護師国家試験」については、全体の合格率が88.3%となる中、本校は新卒94.4%、既卒100%、全体で94.5%という高い合格率を達成しました。今後もこの水準を維持するため、本校独自の「国家試験・学習支援対策」に基づき、個々の習熟度に応じたきめ細やかな指導や成績困難者への対策を継続いたします。

学校評価については、2026年3月に「第8回学校関係者評価会議」を実施しました。自己点検・自己評価結果と併せ、速やかにホームページで報告書を公開する予定です。なお、法改正により専修学校における第三者評価が努力義務化され、修学支援新制度の機関要件としても実質的な義務へと移行しています。本校では文部科学省の指針に基づき、2029年度までの初受審を目指し、組織を挙げて準備を進めてまいります。

(3) 附属病院等の概況

1) 大学病院

大学創立50周年記念事業の一環として推進している「菅生キャンパスリニューアル計画」では、「多様な高次機能を備え、人に優しく、働きやすく、社会の変化に柔軟に対応できる未来志向型病院」をビジョンに掲げ、診療施設の再整備を鋭意進めております。その大きな節目として、2025年1月には外来棟およびエントランス棟がオープンを迎え、病院機能を有する主要な建物が一新されました。これにより、療養環境の向上とともに、高度医療を支える最新の診療基盤が整いました。

現在は旧大学病院本館の解体工事が最終段階に差し掛かっており、今後は跡地において地域との

接続拠点となる新バスターミナルの整備を進め、2027年1月の稼働開始を目指してまいります。これら一連の工程を経て、2027年6月にはいよいよグランドオープンを迎える予定です。

当院は、こうした大規模な施設リニューアルを力強く推進するとともに、診療体制のさらなる強化にも取り組んでおります。ハード・ソフト両面での進化を通じて、地域医療および医療全体の発展を支える中核病院としての機能を果たし、次世代の医療ニーズに応えるべく邁進してまいります。

2) 西部病院

2025年度の西部病院は、4月1日に第10代病院長として明石嘉浩主任教授（循環器内科学）が就任し、新体制のもとで運営を開始しました。スローガン「安心と信頼の医療を届ける」のもと、人と地域の命を支え、確かな医療で未来を築くとともに、質の高い医療の提供を通じて健康増進と福祉の充実に寄与するため、各種施策を推進しました。

7月には、遺伝性疾患や高齢妊娠、遺伝性乳がん・卵巣がん等に関する相談・検査に対応するため、遺伝カウンセリング室を設置しました。

8月には、医療需要の変化を踏まえ、効率的な病床運用を目的として病床数の適正化を進め、病床数を448床から444床へ（許可病床：518床から502床）変更しました。

2026年1月には、超音波検査の運用を一元化するため、超音波センターを設置しました。これにより効率的な管理体制の構築と迅速な検査対応、技師の育成・確保に向けて取り組んでおります。

2月には、内視鏡室を3室から4室へ増設するとともに、機器の新規導入・更新を行い、より高度な治療を行うための体制を整備しました。

3月より、看護補助者として特定技能外国人4名を採用し、医療従事者の確保に向けて新たな取り組みを進めています。

また、大学附属病院としての役割を踏まえ、知の還元と地域連携の強化にも積極的に取り組みました。具体的には、8月に市民公開講座「動悸・息切れを放置しないで！」を瀬谷区民文化センター「あじさいプラザ」において開催し、11月にはオープンホスピタル「健康まつり」を開催しました。当日は、健康づくりの啓発や病院業務の理解促進を目的とした各種コーナー、バックヤードツアー、体験型ワークショップ、お子さま向け企画など、多彩な催しを展開しました。さらに、旭区、瀬谷区および大和市の医療機関を対象とした地域連携セミナーを開催し、地域医療機関との連携強化に努めました。

さらに、SDGs達成に向けた取組が評価され、横浜市より「Y-SDGs」の認証を取得しました。

医療の質向上に向けた保証の取組としては、2月に輸血機能評価（I&A）を受審し、3月には病院機能評価の期中確認（自己点検による評価）を実施しました。

加えて、患者サービスの向上にも取り組み、一部診療科におけるWeb予約の導入や駐車場のリニューアルを実施し、利便性の向上を図りました。

今後も地域に信頼される医療機関として、医療の質と安全性の向上を図りながら、変化する医療ニーズに的確に対応し、より良い医療提供体制の構築を推進してまいります。

3) 多摩病院

地域医療支援病院として、より密接に地域の医療機関と連携するとともに、様々な啓蒙活動や情報発信を行うため、2025年4月に広報戦略室を立ち上げました。広報戦略室では近隣の医療機関への訪問を重点的に行い、直接ご意見を伺い病院運営に反映することで、地域のニーズに応えた医療を展開するよう努めております。8月にはオンラインによる予約システムを導入し、医療機関からの診療・検査予約のみならず、紹介状をお持ちの患者さんからもオンライン経由で予約を取得頂くことが可能となり、診療予約取得に関する利便性が向上しております。年度末のオンライン予約のご利用は全予約の約35%を占めております。11月には在宅療養後方支援病院に指定され、さらには介護老人保健施設との協力医療機関施設協定も順次進めることで、地域完結型医療への取り組みを深めております。2月には医療情報システムを更新し、多職種間の円滑な情報共有とセキュリティ基盤の強化を実現いたしました。これにより患者情報の安全性を高め、質の高い医療環境の維持・向上を図っております。

学術活動では、地域医療機関を対象とした研修会の開催にも注力し、2025年度は医師、看護師、薬剤師など多職種がそれぞれ中心となり、または連携し、計16回の研修会を開催しております。

臨床研修については、医科初期臨床研修医は10名が、歯科研修医は2名がそれぞれフルマッチという結果でした。従前より取り組んでまいりました、専攻医に向けた内科専門研修プログラムと総合診療専門研修プログラムではそれぞれ4名と5名がエントリーし研鑽に励んでいます。併せて、総合診療アカデミックコースにおける大学院生指導も継続しており、2025年度は2名の学位取得者を輩出しております。

4) プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

4月より乳がん診療における迅速な治療開始を目的として、手術や化学療法を要する患者を対象とした「治療枠」を新設しました。これにより、診断から治療開始までの待機期間を短縮し、より速やかに高度な医療を提供できる体制を構築することができました。

また、12月には形成外科を開設し、乳腺外科との連携による乳房再建外来に加え、一般的な形成外科診療を開始しました。今後、皮膚腫瘍切除や眼瞼下垂症手術等の日帰り手術を積極的に実施していく計画としております。川崎市麻生区内における形成外科診療施設は希少であることから、専門性を活かして地域医療に貢献してまいります。

検診については、11月に川崎市骨粗しょう症検診、1月には横浜市乳がん検診をそれぞれ受託し、広域かつ多様なニーズに対応可能な検診体制を整備いたしました。今後も、専門的な診断・治療から検診まで、幅広い医療サービスの提供を目指してまいります。

(4) 被災地支援活動

東日本大震災、関東・東北豪雨、熊本地震、新型コロナウイルス感染症拡大事案など、過去に発生した大規模自然災害や感染症パンデミックにおいても災害派遣医療チーム（DMAT）や医療救護班を積極的に派遣しています。2024年1月1日に発生した能登半島地震においては厚生労働省からの要請に応じた DMAT の派遣、日本小児科学会からの要請に応じた災害時小児周産期リエゾンの派遣、日本看護協会からの要請に応じた災害支援ナースの派遣を行いました。昨今、都市型局地災害の発生も増加しており、川崎市や川崎市消防局との連携の下での DMAT 派遣も行っています。大学病院には DMAT 隊員だけでなく災害派遣精神医療チーム（DPAT）の隊員も在籍しており、今後も過去の活動経験を活かし、有事の際には迅速かつ効果的な医療支援を行なってまいります。

2. 設置する学校・学部・学科

聖マリアンナ医科大学 医学部 医学科
開学年月日 1971年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 大学院 医学研究科
開学年月日 1977年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 看護専門学校 看護学科 医療専門課程
開校年月日 1979年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

3. 収益事業（2013年3月29日付寄附行為変更認可によるもの）

川崎市立多摩病院の管理運営
指定管理者指定日 2005年6月24日
所在地 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

4. 役員(理事・監事)および評議員関係

(1) 役員(理事 12名・監事 2名)構成

理事・監事	氏名	任期
理事長	明石 勝也	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
学長	北川 博昭	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
常勤理事	加藤 智啓	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
常勤理事	大坪 毅人	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
常勤理事	明石 嘉浩	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
常勤理事	川瀬 弘一	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
常勤理事	鈴木 宣男	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
常勤理事	山本 真士	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
常勤理事	中島 由彦	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
常勤理事	根津 保廣	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
非常勤理事	永田 良一	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
非常勤理事	本館 教子	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
常勤監事	福嶋 弘榮	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
監事	清水 至	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで

(2) 常勤理事構成

理事長 明石 勝也 他9名 (2026年3月31日現在)

(3) 評議員構成

評議員	氏名	任期
研究課長、大学院教授	遊道 和雄	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
多摩病院長、脳神経外 科学教授	長島 悟郎	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
看護専門学校長	鈴木 昌子	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
カトリック司祭、宗教 学特任教授	小田 武彦	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
名和医院院長	弘瀬 知江子	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
村野小児科アレルギー 一科副院長	村野 明子	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
聖医会会長、岸内科胃 腸科医院院長	岸 忠宏	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
医療法人社団アクロ ス理事長	青木 康之	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
神奈川県立保健福祉 大学副学長	金井 信高	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
神奈川県立病院機構 副理事長	柏崎 克夫	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
株式会社エフ・エム・ シー代表取締役	細谷 実知博	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
田園調布学園大学 副学長	安村 清美	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで
昭和音楽大学 副学長	江口 文子	2025年6月2日～2028年定時評議員会 終結の時まで

評議員 遊道 和雄 他12名 (2026年3月31日現在)

(4) 理事選任機関会議構成

理事選任機関会議 明石 勝也 他理事・評議員24名 (2026年3月31日現在)

(5) 理事会・評議員会・常任役員会の開催状況

理事会開催日

第一回	2025年5月26日
第二回	2025年6月3日
第三回	2025年6月30日
第四回	2025年9月29日
第五回	2025年11月25日
第六回	2025年12月22日
第七回	2026年2月18日
第八回	2026年3月30日
第九回	2026年3月30日

評議員会開催日

定時評議員会 (第一回)	2025年6月2日
第二回	2025年11月25日
第三回	2026年3月9日
第四回	2026年3月30日

常任役員会開催日

2025年4月28日 2025年9月29日 2026年2月18日
2025年5月26日 2025年10月27日 2026年2月24日
2025年6月30日 2025年11月25日 2026年3月18日
2025年7月28日 2025年12月22日 2026年3月30日
2025年8月25日 2026年1月26日

5. 大学の主な役職者

役 職	氏 名	所 属
学 長	北 川 博 昭	
医 学 部 長	加 藤 智 啓	リウマチ・膠原病・アレルギー-内科学 特任教授
研 究 科 長	遊 道 和 雄	難治性疾患病態制御学 大学院教授
大 学 病 院 長	大 坪 毅 人	消化器・一般外科学 特任教授
西 部 病 院 長	明 石 嘉 浩	循環器内科学 主任教授
多 摩 病 院 長	長 島 悟 郎	脳神経外科学 教授
ブレスト&イメージング 先端医療センター 附属クリニック院長	福 田 護	乳腺・内分泌外科 特任教授

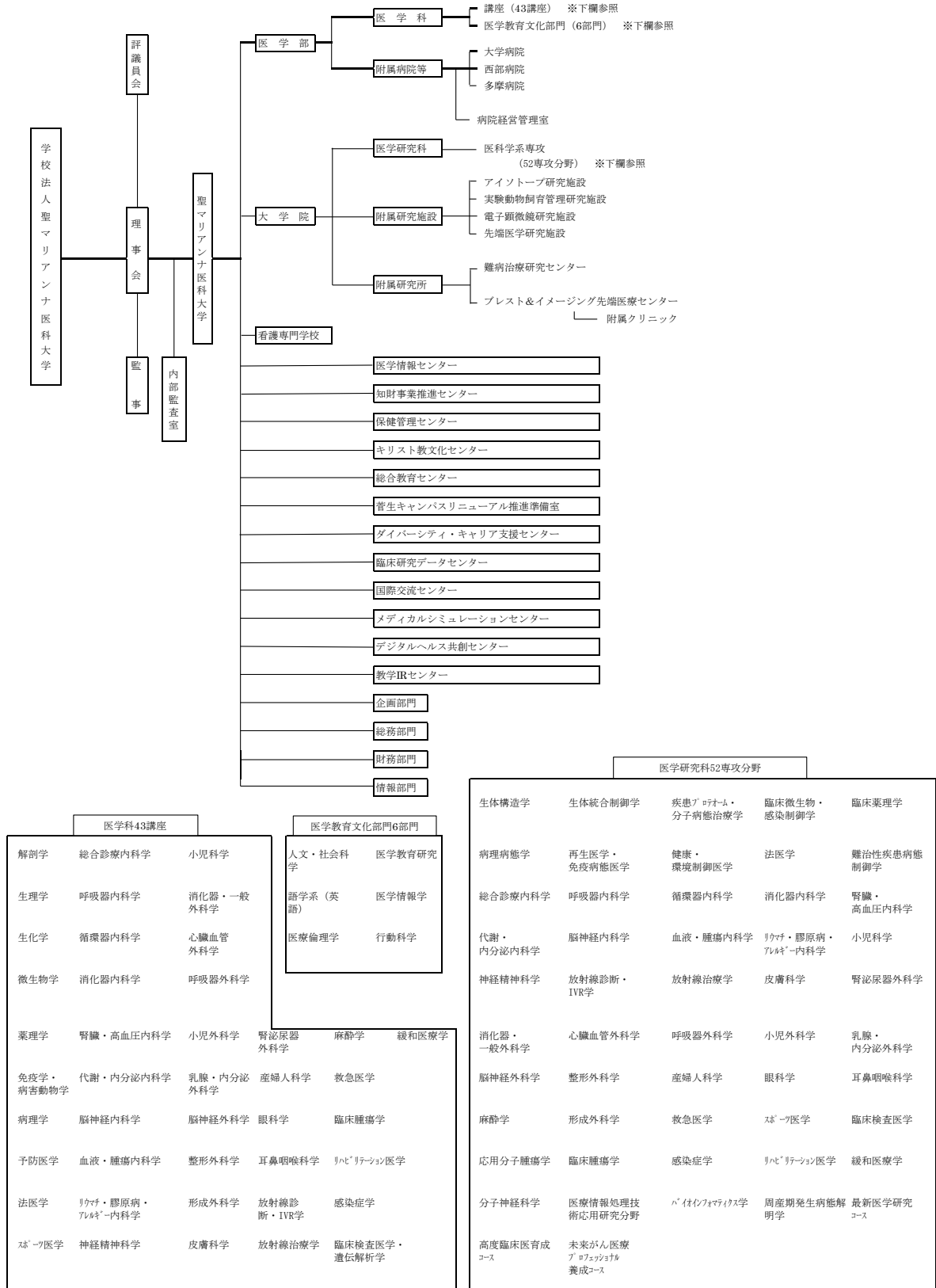
6. 教職員数 (2026年3月1日現在)

区 分		医学部	大学病院	西部病院	多摩病院	ブレスト& イメージング センター附属 クリニック	看護専門 学校	大学院	大学院 附属研究 施設・附 属研究所	合 計
教員	学長	1								1
	教授※1	138	(101)	(19)	(10)	(1)		5		143
	准教授	81	(44)	(11)	(12)			1	6	88
	講師	135	(74)	(13)	(16)	(1)		1	3	139
	助教	717	(397)	(82)	(89)				5	722
	小計(1)	1,072	(616)	(125)	(127)	(2)		7	14	1,093
職員	その他医師		58	9	12	1				80
	看護師	12	1,225	553	416	10				2,216
	薬剤師		88	35	24	2				149
	臨床検査技師		113	31	25	5				174
	放射線技師		72	30	21	5				128
	OT・PT・ST		55	28	23					106
	医・診療技術員		88	31	28					147
	栄養士等		35	12	6					53
	事務員	194	170	84	64	7	4		1	524
	研究技術員	34							9	43
	教員						20			20
	その他	8	48	15	10					81
	小計(2)	248	1,952	828	629	30	24		10	3,721
合計(1)+(2)		1,320	1,952	828	629	30	24	7	24	4,814
その他(研修医)			72	12	22					106
総 計		1,320	2,024	840	651	30	24	7	24	4,920

看 護 師	看護師、保健師、助産師、准看護師、診療看護師
O T ・ P T ・ S T	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
医 ・ 診 療 技 術 員	臨床工学技士、視能訓練士、ソーシャルワーカー、臨床心理士、救急救命士、歯科衛生士、精神保健福祉士、 胚培養士
栄 養 士 等	管理栄養士、栄養士
事 務 員	事務、クラーク、秘書、司書、メディカルコーディネーター
そ の 他	看護助手、保育士、電話交換手、運転手、工務技術員、技能員、技術員、診療アシスタント

※1 教授＝特任教授を含む

7. 学校法人聖マリアンナ医科大学組織図



医学科43講座			医学教育文化部門6部門	
解剖学	総合診療内科学	小児科学	人文・社会科学	医学教育研究学
生理学	呼吸器内科学	消化器・一般外科学	語学系 (英語)	医学情報学
生化学	循環器内科学	心血管外科学	医療倫理学	行動科学
微生物学	消化器内科学	呼吸器外科学		
薬理学	腎臓・高血圧内科学	小児外科学	腎臓器外科学	麻酔学
免疫学・病態動物学	代謝・内分泌内科学	乳腺・内分泌外科学	産婦人科学	緩和医療学
病理学	脳神経内科学	脳神経外科学	眼科学	救急医学
予防医学	血液・腫瘍内科学	整形外科学	耳鼻咽喉科学	臨床腫瘍学
法医学	リウマチ・膠原病・アレルギー内科学	形成外科学	放射線診断・IVR学	リハビリテーション医学
スポーツ医学	神経精神科学	皮膚科学	放射線治療学	臨床検査医学・遺伝解析学

医学研究科52専攻分野				
生体構造学	生体統制御学	疾患プロテオーム・分子病態治療学	臨床微生物・感染制御学	臨床薬理学
病理病態学	再生医学・免疫病態医学	健康・環境制御医学	法医学	難治性疾患病態制御学
総合診療内科学	呼吸器内科学	循環器内科学	消化器内科学	腎臓・高血圧内科学
代謝・内分泌内科学	脳神経内科学	血液・腫瘍内科学	リウマチ・膠原病・アレルギー内科学	小児科学
神経精神科学	放射線診断・IVR学	放射線治療学	皮膚科学	腎臓泌尿器外科学
消化器・一般外科学	心血管外科学	呼吸器外科学	小児外科学	乳腺・内分泌外科学
脳神経外科学	整形外科学	産婦人科学	眼科学	耳鼻咽喉科学
麻酔学	形成外科学	救急医学	スポーツ医学	臨床検査医学
応用分子腫瘍学	臨床腫瘍学	感染症学	リハビリテーション医学	緩和医療学
分子神経科学	医療情報処理技術応用研究分野	バイオインフォマティクス学	周産期発生病態解明学	最新医学研究コース
高度臨床医育成コース	未来がん医療プロフェッショナル養成コース			

II. 事業の概要

1. 法人本部・教育・研究・診療活動

2025年度の法人本部・教育・研究・診療活動における主な改革・施策の状況は、次のとおりです。

法人本部

- ・ 改正私立学校法の施行に伴う、寄附行為の全面的改正
- ・ 理事選任機関会議を設置
- ・ 理事・監事・評議員の改選の実施。
- ・ 「内部統制システム整備の基本方針」の制定。
- ・ 「理事会運営要綱」および「評議員会運営要綱」の新規制定、ならびに「役員報酬等規程」および「監事監査規程」の改正
- ・ 「みらい募金」の創設
- ・ 病院ラジオ「マリラジ」配信開始

医学部

- ・ 第4学年研究室配属にて「海外研究コース」を新設
- ・ 大学ポリシー（ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー）を改訂
- ・ カナダアルバータ大学と協定書を締結
- ・ ペルー カエタノ・エレディア大学と協定書を締結

大学院

- ・ 全専攻分野共通講義（総合教育科目・最新医学講義）においてオンデマンド講義（WEBCLASS）を実施

大学病院

- ・ 効率的な病床運用および患者の病状に応じた適切な病床管理に資することを目的としたベッドコントロールセンターを設置
- ・ 輸血部と細胞治療センターを統合し輸血・細胞治療センターに改称
- ・ 診療協働部門に心理・精神保健福祉技術部を新設
- ・ 精密な操作性と高解像度の3D画像を兼ね備え、より精密で低侵襲な外科治療を可能とする手術支援ロボット「DA VINCI（ダヴィンチ）XI」を導入
- ・ 臨床研修第三者評価機構であるNPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)の認定を受ける
- ・ 救命救急センター充実段階評価で最高のS評価を8年連続で獲得
- ・ PHR機能を含む患者向け公式アプリ「マリアンナアプリ」の登録者が14,000人を突破

1. 法人本部・教育・研究・診療活動（2）

西部病院

- ・ 明石嘉浩病院長就任（第 10 代目）
- ・ 遺伝カウンセリング室設置
- ・ 稼働病床数を 448 床から 444 床へ（許可病床数：518 床から 502 床へ）
- ・ 超音波センター設置
- ・ 内視鏡室リニューアル
- ・ 図書室および研究室リニューアル
- ・ 外国人特定技能人材を導入
- ・ 市民公開講座「動悸・息切れを放置しないで！」開催
- ・ オープンホスピタル「健康まつり」開催
- ・ 「Y-SDGs」に認証を取得
- ・ 「ハマロード・サポーター」に認定される

多摩病院

- ・ 紹介患者予約システム「やくばと」の導入
- ・ 在宅療養後方支援病院の指定
- ・ 介護老人保健施設との協力医療機関施設協定への取り組み開始
- ・ 医療情報システムの更新
- ・ カリタス学園高校 3 年生によるステンドグラスの設置
- ・ かわさき財政援助団体監査
- ・ 内科専門研修プログラムと総合診療専門研修プログラムの運用

ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

- ・ 形成外科の開設
- ・ 横浜市乳がん検診の受託
- ・ 川崎市骨粗しょう症検診の受託
- ・ 初診、検診の WEB 予約化

看護専門学校

- ・ 学則変更（①保証人責務契約に極度額を明記、②GPA 制度の導入、③学校教育法の改正に伴う在籍者の呼称変更）を申請し、承認を得る
- ・ 受験者数の推移を鑑み、一般入学試験Ⅳ期を追加実施
- ・ 第 8 回関係者評価を実施
- ・ 電子テキストや授業資料配信といった WEB 教材の活用開始から 2 年、経費の最適化と DX による業務効率化の両面で成果が表れている。

1-1 大学病院

開 院 年 月 日	1974年2月12日
許 可 病 床 数	955床（稼動病床数 955床）〔一般病棟 924床、精神病棟 31床〕
患 者 数	入院延人数 315,017人 1日入院平均 863人 外来延人数 579,853人 1日外来平均 1,993人
診 療 科 等	<p>総合診療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、神経精神科、小児科、新生児科、小児集中治療科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、腎泌尿器外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線診断・IVR科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科、緩和ケア科 （35診療科）</p> <p>認知症（老年精神疾患）治療研究センター、統合失調症治療センター、呼吸器病センター、ハートセンター、心不全センター、補助人工心臓センター、ハイブリッド心臓大動脈治療センター、脳卒中センター、パーキンソン病治療センター、肝疾患医療センター、脊椎センター、人工関節センター、こどもセンター、こどものこころセンター、内分泌疾患センター、ゲノム医療推進センター（遺伝診療部、がんゲノム診療部）、緩和ケアセンター、感染症センター、糖尿病センター、てんかんセンター、胆道・膵臓病センター、リウマチ・膠原病生涯治療センター、神経内分泌腫瘍センター、脳血管内治療科、骨粗鬆症センター、在宅移行医療支援センター、かわさき小児救命・集中治療センター、ニューロモデュレーションセンター （30診療連携部門）</p> <p>救命救急センター、夜間急患センター、リハビリテーションセンター、健康診断センター、総合周産期母子医療センター、生殖医療センター、精神療法・ストレスケアセンター、腎臓病センター、腫瘍センター、内視鏡センター、超音波センター、画像センター、放射線治療センター、輸血・細胞治療センター、臨床検査センター、手術・IVRセンター、集中治療センター、中央器材室 （18診療施設部門）</p>

1-2 西部病院

開 設 年 月 日	1987年5月25日
許 可 病 床 数	502床（稼動病床数 444床）
患 者 数	入院延人数 134,125人 1日入院平均 368人 外来延人数 232,530人 1日外来平均 799人
診 療 科 等	<p>総合診療内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓・高血圧内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科）、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、麻酔科、病理診断科 （25診療科）</p> <p>心臓血管センター、救命救急センター（脳卒中センター）、周産期センター、足の外科センター、大腸センター、めまいセンター、遺伝カウンセリング室、超音波センター、（8診療施設）</p>

1-3 多摩病院

開 院 年 月 日	2006年2月1日
許 可 病 床 数	376床（稼働病床数 369床）
患 者 数	入院延人数 107,137人 1日入院平均 294人 外来延人数 207,246人 1日外来平均 770人
診 療 科 等	総合診療内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、アレルギー科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科 (32診療科) 救急災害医療センター、腎センター、内視鏡センター、健康診断部 (4診療施設)

1-4 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

開 院 年 月 日	2009年3月2日
許 可 病 床 数	無床
外 来 患 者 数	外来延人数 32,792人 1日外来平均 122人
診 療 科 等	乳腺外科、放射線科、腫瘍内科、形成外科（乳腺疾患に特化した診療施設）

2. 学生在籍者数（2025年4月1日時点）

(1) 医学部

学 年	定 員	学生数
1 学 年	117名	120（68）名
2 学 年	117名	118（68）名
3 学 年	115名	122（66）名
4 学 年	115名	112（69）名
5 学 年	115名	124（74）名
6 学 年	115名	111（63）名
合 計	694名	707（408）名

（括弧内数字は女子学生数）

(2) 大学院

学 年	定 員	合 計
1 学 年	60名	18（6）名
2 学 年	60名	26（8）名
3 学 年	60名	29（15）名
4 学 年	60名	28（7）名
合 計	240名	101（36）名

（括弧内数字は女子学生数）

(3) 看護専門学校

学 年	定 員	学生数
1 学 年	80名	100（6）名
2 学 年	80名	70（11）名
3 学 年	80名	75（9）名
合 計	240名	245（26）名

（括弧内数字は男子学生数）

3. 入学試験状況

(1) 医学部

学校推薦型入学試験（地域枠含む）

第1次試験 2025年11月15日（土）

同合格発表 2025年12月1日（月）

一般入学試験（前期）

第1次試験 2026年2月5日（木）

同合格発表 2026年2月10日（火）

第2次試験 2026年2月14日（土）・15日（日）

同合格発表 2026年2月19日（木）

一般入学試験（後期）

第1次試験 2026年3月3日（火）

同合格発表 2026年3月10日（火）

第2次試験 2026年3月13日（金）

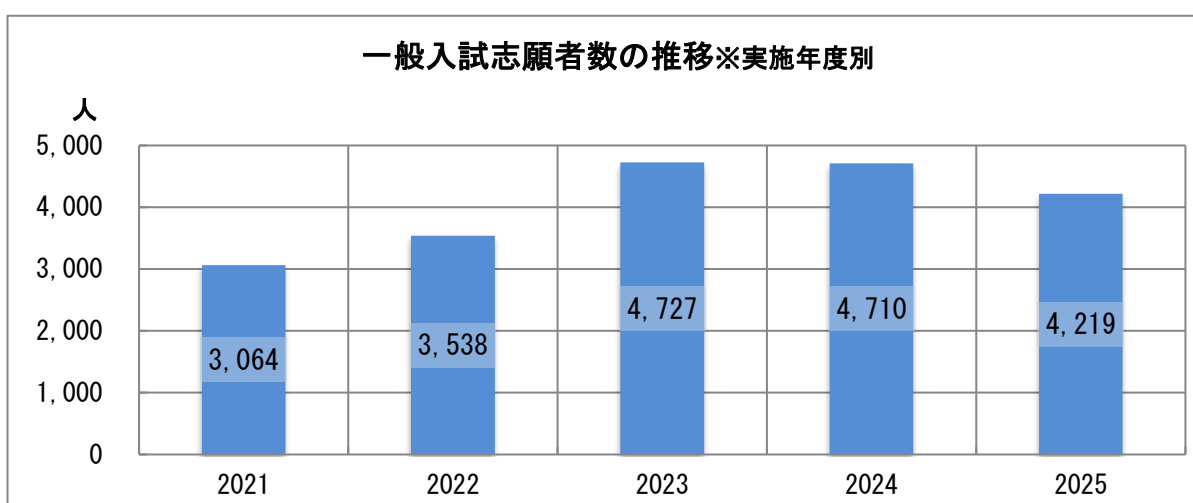
同合格発表 2026年3月19日（木）

大学入学共通テスト試験

第1次試験	2026年	1月17日(土)・18日(日)
同合格発表	2026年	3月10日(火)
第2次試験	2026年	3月13日(金)
同合格発表	2026年	3月19日(木)

区分	募集人員	志願者数	入学者数(2026年度)
推薦(一般公募制)	約20名	60(36)名	20(14)名
推薦(神奈川県地域枠)	7名	13(6)名	7(5)名
一般(前期)	約75名	3,007(1,448)名	75(38)名
一般(後期)	約10名	1,212(613)名	10(5)名
大学入学共通テスト	約5名	444(234)名	5(1)名
合計	117名	4,736(2,337)名	117(63)名

(括弧内数字は女子学生数)

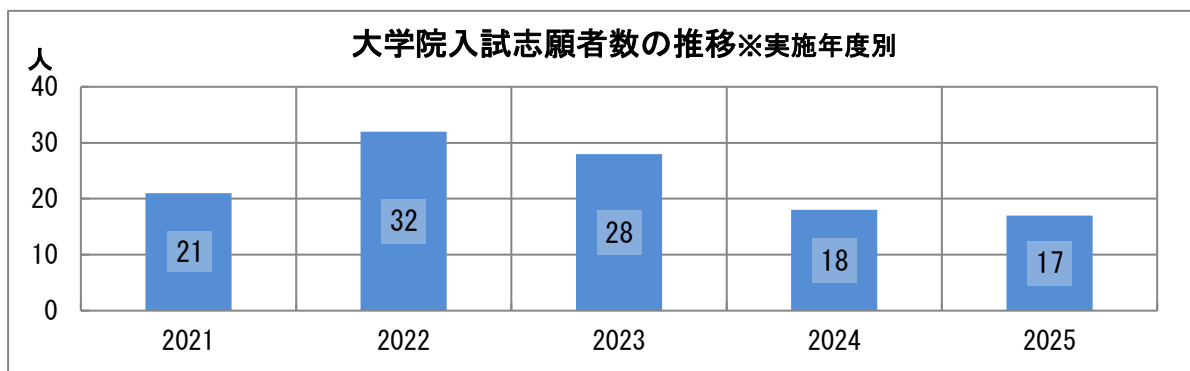


(2) 大学院

第1次入学試験	2025年	11月7日(金)
同合格発表	2025年	12月4日(木)
第2次入学試験	2026年	1月9日(金)
同合格発表	2026年	2月5日(木)

専攻	募集人員	志願者数	入学者数(2026年度)
医科学系	60名	17(6)名	17(6)名

(括弧内数字は女子学生数)

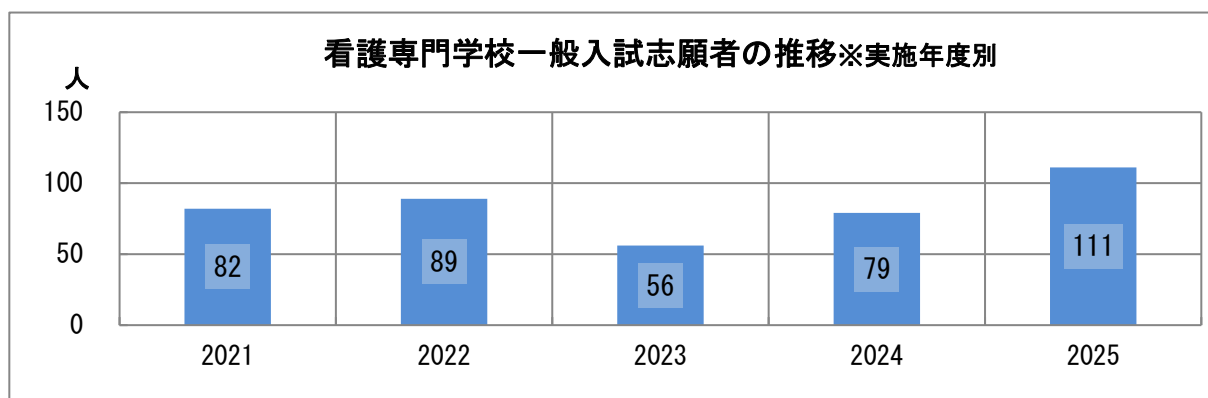


(3) 看護専門学校

社会人・学士入学試験	2025年10月18日(土)
同合格発表	2025年10月21日(火)
推薦入学試験	2025年10月18日(土)
同合格発表	2025年10月21日(火)
一般入学試験(Ⅰ期)	2025年11月15日(土)
同合格発表	2025年11月19日(水)
一般入学試験(Ⅱ期)	2025年12月20日(土)
同合格発表	2025年12月23日(火)
一般入学試験(Ⅲ期)	2026年2月21日(土)
同合格発表	2026年2月25日(水)
一般入学試験(Ⅳ期)	2026年3月7日(土)
同合格発表	2026年3月10日(火)

区分	募集人員	志願者数	入学者数(2026年度)
推薦		31名	30(0)名
社会人・学士		12名	9(4)名
一般(Ⅰ期)		27名	13(3)名
一般(Ⅱ期)		16名	12(1)名
一般(Ⅲ期)		14名	7(0)名
一般(Ⅳ期)		11名	5(2)名
合計	全体で80名	111名	76(10)名

(括弧内数字は男子学生数)

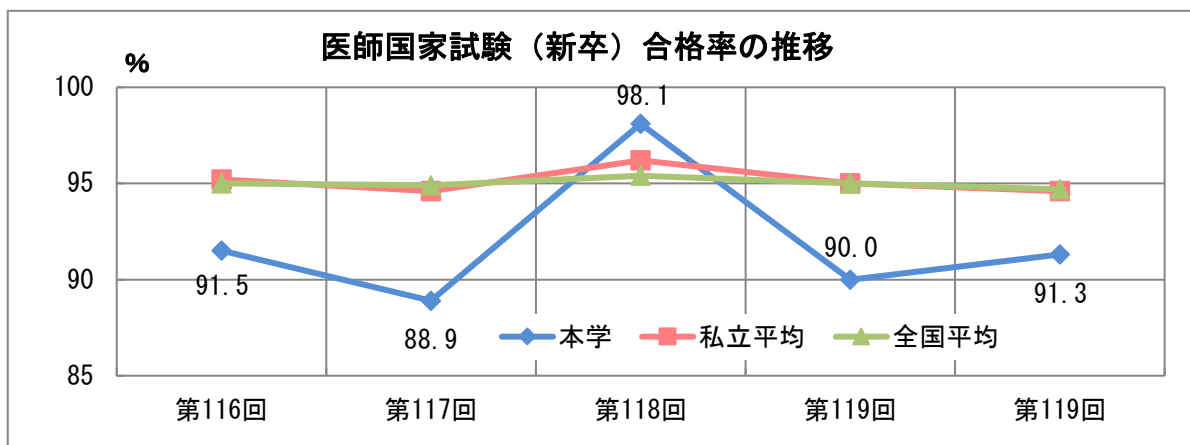


4. 国家試験合格状況

(1) 第120回医師国家試験合格状況

第120回医師国家試験は、本学の合格者数は104名、合格率90.4%となりました。

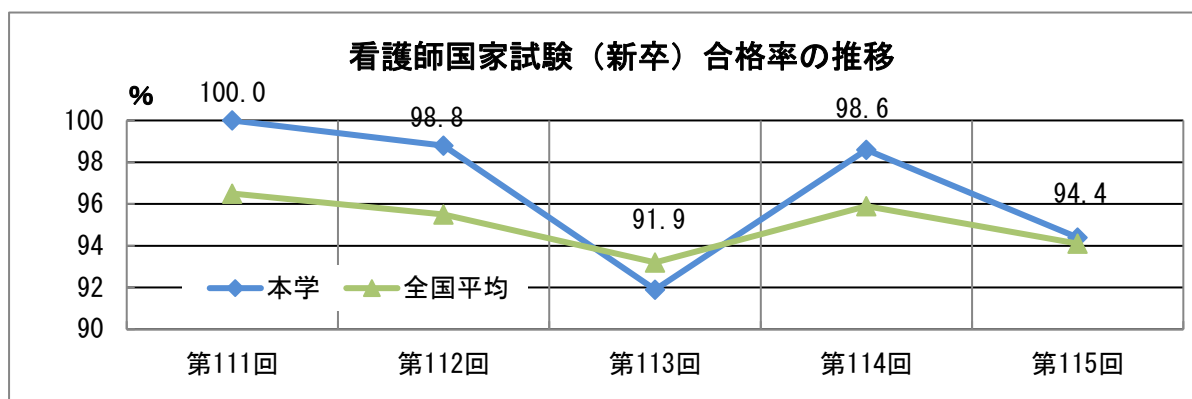
	新卒	既卒	全体
受験者数	104名	11名	115名
合格者数	95名	9名	104名
本学合格率	91.3%	81.8%	90.4%
私立医科大学平均合格率	94.6%	63.5%	92.5%
全国平均合格率	94.7%	54.6%	91.6%



(2) 第115回看護師国家試験合格状況

第115回看護師国家試験の合格率は94.4%で、全国平均の合格率を上回る結果となりました。
 なお、新卒の合格者68名のうち59名が本学附属病院等に入職しました。

	新卒	既卒	全体
受験者数	72名	1名	73名
合格者数	68名	1名	69名
本学合格率	94.4%	100%	94.5%
全国平均合格率	94.1%	32.3%	88.3%



5. 博士(医学)の学位授与状況

課程修了によるもの	22件
論文提出によるもの	7件

6. 補助金交付状況

(1) 国庫補助金・地方公共団体補助金等交付状況

2025年度の国庫補助金・地方公共団体補助金等の交付状況は、次のとおりです。

部 門	補助者	件数	交付金額
医 学 部	国庫補助金	3件	2,120,114千円
	神奈川県	1件	
	川崎市	1件	
	私学事業団	0件	
大 学 病 院	国庫補助金	7件	1,243,450千円
	神奈川県	15件	
	川崎市	10件	
	その他	0件	
西 部 病 院	国庫補助金	3件	497,831千円
	神奈川県	11件	
	横浜市	6件	
	その他	0件	
多 摩 病 院	国庫補助金	4件	956,432千円
	神奈川県	7件	
	川崎市	4件	
	その他	0件	
看 護 専 門 学 校	神奈川県	4件	60,190千円
	川崎市	2件	
プレスト&イメージング センター	国庫補助金	0件	48千円
	神奈川県	1件	
法 人 合 計			4,878,065千円
内 訳	国庫補助金(私学事業団含)		2,886,243千円
	地方公共団体補助金		1,991,822千円
	その他補助金		0千円

(2) 文部科学省科学研究費助成事業申請・交付状況

2025年度科学研究費助成事業は次のとおり申請 209件に対し新規採択が 37件、継続採択が 93件の合計 130件に対し 164,500千円が交付されました。なお申請件数に対する採択率は 17.7%です。

研究種目	新 規			継 続	
	申請件数	採択件数	採択金額	採択件数	金額
基 盤 研 究 (S)	0件	0件	0千円	0件	0千円
基 盤 研 究 (A)	0件	0件	0千円	0件	0千円
基 盤 研 究 (B)	9件	5件	25,800千円	2件	8,600千円
基 盤 研 究 (C)	158件	28件	37,900千円	62件	59,600千円
挑 戦 的 研 究 (開 拓)	1件	0件	0千円	0件	0千円
挑 戦 的 研 究 (萌 芽)	7件	0件	0千円	1件	2,000千円
若 手 研 究	32件	4件	6,300千円	25件	22,400千円
研究活動スタート支援	2件	0件	0千円	1件	1,100千円
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(A))	0件	0件	0千円	1件	0千円
国際共同研究加速基金 (海外連携研究)	0件	0件	0千円	0件	0千円
学術変革領域研究(B)	0件	0件	0千円	0件	0千円
特別研究員奨励費	0件	0件	0千円	1件	800千円
合 計	209件	37件	70,000千円	93件	94,500千円

7. 主な施設・設備の更新等

2025年度における主な施設・設備の更新等は、次のとおりです。

◆ 大学・大学院

設備関係	高速液体クロマトグラフ質量分析装置取得
	学内 LAN センタースイッチ更新
	証明書自動発行機更新
	教育棟 301 教室プロジェクター更新

◆ 大学病院

施設関係	入院棟 RI 排水増設に伴う改修工事
設備関係	Revo Works Browser（仮想ブラウザソリューション）導入
	重症病棟支援システム PRM-7400 取得
	汎用超音波画像診断装置取得

◆ 西部病院

施設関係	院内ネットワーク更新
設備関係	共焦点走査型ダイオードレーザー検眼鏡取得
	医療情報ネットワーク機器更新

◆ 多摩病院

設備関係	医療情報システム（電子カルテ・部門システム）更新
	臨床用ポリグラフ取得

Ⅲ. 財務の概要

1. 財務の概況

2025年度の法人全体の基本金組入前収支差額は△4,586百万円（うち収益事業会計△1,364百万円）となり、前年度に比べ1,451百万円収支が悪化しました。

ただし、前年度は東横病院の不動産売却5,871百万円、それに関連した土壌汚染調査等経費41百万円、新外来棟やエントランス棟竣工稼働に伴う什器備品取得や移転経費1,179百万円、解体工事を開始した大学病院本館等の除却2,245百万円、コロナ関連支援金の返還456百万円といった特殊要因がありました。

一方で2025年度も、大学病院本館のアスベスト除去工事費等の建物処分差額追加計上336百万円、会計基準改正による賞与引当金の引当開始に伴う特別繰入2,114百万円等の特殊要因がありました。

上記の特殊要因を除くと、法人全体の基本金組入前収支差額は2024年度△5,085百万円に対し、2025年度△2,095百万円となり、実質的には2,990百万円改善しております。

基本金組入前収支差額が改善した主な要因は、医療経費の増加3,871百万円を上回る医療収入の5,024百万円増加と、物価高騰支援等をはじめとする補助金収入の1,384百万円増加です。附属病院合計の外来延患者数は減少となったものの、大学病院が90%を超える病床稼働率を維持し、附属病院合計の入院延患者数増加や入外診療単価の上昇したことより医療収入が増加しました。

また、創設したみらい募金等の寄付受入れ608百万円の増加や、受託研究や治験等の収入が123百万円増加したことも事業活動収入を押し上げる要因となっています。

これらの収支改善傾向を受けて、教育・研究・診療環境を充実するための設備や人材への投資を拡大し、今後の更なる収支改善に向けて戦略的な先行投資を行いました。

なお、基本金組入前収支差額に減価償却額と処分差額を足し戻した償却前収支差額は808百万円の黒字でしたが、会計基準の変更に伴い2025年度のみ特別支出計上した賞与引当金特別繰入額2,114百万円をさらに足し戻すと2,922百万円の黒字となり、当初予算の償却前収支差額の目標値2,783百万円を達成することができました。

菅生キャンパスリニューアル事業は順調に進捗し、2027年度のグランドオープンに向け解体工事や外構整備が続きますが、シンジケートローンによる借入れは2025年度で終了し、2026年度から借入金は減少に向かう予定です。

法人全体の経常収支差額は、大学病院建替や大型医療機器の更新等による減価償却額の増加の影響が大きく、△2,279百万円（うち収益事業会計△1,001百万円）と4期連続の赤字となっているものの、前年度比では4,535百万円改善しており、黒字化に向け来年度も引き続き努力してまいります。

体育館の耐震化改修や、電子カルテの継続的な更新等、今後も大きな設備投資が控えておりますが、2026年6月に予定されております賃上げや物価高騰に対応するための診療報酬の大幅な改定も追い風にしつつ、教育・研究・診療環境の更なる充実により収益力の強化に取り組んでまいります。

2. 学校法人会計

(1) 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度内の教育研究診療活動で発生した全ての資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったかを明らかにするものです。

(収入の部)			(単位 百万円)		
勘定科目	2025年度決算①	2025年度当初②	2024年度決算③	増減(①-②)	増減(①-③)
学生生徒等納付金収入	4,293	4,274	4,260	19	33
寄付金収入	786	255	454	531	332
補助金収入	3,922	2,497	2,703	1,425	1,219
医療収入	70,780	71,775	66,167	△ 995	4,613
その他の収入	24,224	20,111	26,927	4,113	△ 2,703
資金収入調整勘定	△ 14,061	△ 12,438	△ 12,514	△ 1,623	△ 1,547
当年度収入合計(A)	89,944	86,474	87,997	3,470	1,947
借入金等収入(1)	1,600	1,600	7,300	0	△ 5,700
前年度繰越支払資金	13,562	20,621	11,517	△ 7,059	2,045
収入の部合計	105,106	108,695	106,814	△ 3,589	△ 1,708
(支出の部)					
勘定科目	2025年度決算①	2025年度当初②	2024年度決算③	増減(①-②)	増減(①-③)
人件費支出	32,472	32,109	31,898	363	574
教育研究経費支出	3,093	3,041	3,070	52	23
医療経費支出	41,202	40,302	38,632	900	2,570
管理経費支出	1,918	1,602	2,238	316	△ 320
施設・設備関係支出	820	784	6,978	36	△ 6,158
借入金等利息支出	579	576	434	3	145
その他の支出	24,672	20,055	23,865	4,617	807
資金支出調整勘定	△ 14,810	△ 14,911	△ 14,148	101	△ 662
当年度支出合計(B)	89,946	83,558	92,967	6,388	△ 3,021
借入金等返済支出(2)	642	642	285	0	357
次年度繰越支払資金	14,518	24,495	13,562	△ 9,977	956
支出の部合計	105,106	108,695	106,814	△ 3,589	△ 1,708
当年度資金差額(A)-(B)	△ 2	2,916	△ 4,970	△ 2,918	4,968
借入金差額(1)-(2)	958	958	7,015	0	△ 6,057

(2) 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に相当するもので、当該年度の法人の活動を①教育研究診療活動、②施設整備等の活動、③財務活動・収益事業活動等に区分し、活動ごとの資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったのかを明らかにするものです。

単位(百万円)

●教育活動による資金収支		2025決算 ①	2025当初 ②	2024決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金収入	4,293	4,274	4,260	19	33
	寄付金収入	785	254	177	531	608
	経常費等補助金収入	3,755	2,351	2,558	1,404	1,197
	医療収入	70,780	71,775	66,167	▲ 995	4,613
	その他の収入	2,894	2,519	2,767	375	127
	収入合計(A)	82,507	81,173	75,929	1,334	6,578
支出	人件費支出	32,472	32,109	31,898	363	574
	教育研究経費支出	3,093	3,041	3,070	52	23
	医療経費支出	41,202	40,302	38,632	900	2,570
	管理経費支出	1,910	1,602	2,238	308	▲ 328
支出合計(B)	78,677	77,054	75,838	1,623	2,839	
調整勘定等(C)	▲ 459	1,681	849	▲ 2,140	▲ 1,308	
資金差額(D=A-B+C)	3,371	5,800	940	▲ 2,429	2,431	

2025年度、教育活動(研究・診療含む)資金収支は補助金収入や医療収入増加が直接材料等の支出増加を上回っているため資金差額は**3,371百万円(D)**となりました。

機器備品の調達等、資本的支出を含む**施設整備等活動の資金差額は▲1,117百万円(H)**で、前年度は大病院新外来棟・エントランス棟の竣工による施設・設備関係支出があったため、前年度比では大きく減少しています。教育と施設整備を合わせた資金差額は2,254百万円(D+H)です。

借入・貸付とその返済、利息や収益事業からの繰入を含む**財務活動等の資金差額は▲1,298百万円(N)**と(D+H)を合算した資金差額は、前年度から**956百万円(Q)**増加し、次年度へは**14,518百万円(P)**の**支払資金**を繰越すこととなります。(尚、この次年度繰越支払資金は、1か月分の運転資金にあたる年度末4号基本金5,614百万円を上回っています。)

●施設整備等活動による資金収支

収入	寄付金・補助金収入	167	146	421	21	▲ 254
	その他の収入	7,924	0	6,885	7,924	1,039
	収入合計(E)	8,091	146	7,307	7,945	784
支出	施設・設備関係支出	820	784	6,978	36	▲ 6,158
	その他の支出	8,005	0	8,081	8,005	▲ 76
	支出合計(F)	8,825	784	15,059	8,041	▲ 6,234
調整勘定等(G)	▲ 383	▲ 644	579	261	▲ 962	
資金差額(H=E-F+G)	▲ 1,117	▲ 1,282	▲ 7,173	165	6,056	
資金差額小計(D+H)	2,254	4,518	▲ 6,233	▲ 2,264	8,487	

●その他の活動による資金収支 ※財務活動、収益事業活動等

収入	借入金等収入(I)	1,600	1,600	7,300	0	▲ 5,700
	収益事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	856	4,975	4,206	▲ 4,119	▲ 3,350
	収入合計(J)	2,456	6,575	11,506	▲ 4,119	▲ 9,050
支出	借入金等返済支出(K)	642	642	285	0	357
	借入金等利息支出	579	576	434	3	145
	その他の支出	2,533	5,999	2,509	▲ 3,466	24
	支出合計(L)	3,754	7,217	3,228	▲ 3,463	526
調整勘定等(M)	0	▲ 2	0	2	0	
資金差額(N=J-L+M)	▲ 1,298	▲ 644	8,278	▲ 654	▲ 9,576	

借入金等収入(I)1,600百万円はリニューアル事業計画に係るものです。

収益事業会計として区分経理している多摩病院の当期純利益は▲1,364百万円とマイナスになったため、学校会計への繰入れはありません。

前年度繰越支払資金(O)	13,562	20,621	11,517	▲ 7,059	2,045
次年度繰越支払資金(P)	14,518	24,495	13,562	▲ 9,977	956
支払資金増減(Q=D+H+N=P-O)	956	3,874	2,045	▲ 2,918	▲ 1,089
内借入金差額(R=I-K)	958	958	7,015	0	▲ 6,057
内当年度資金差額(S=Q-R)	▲ 2	2,916	▲ 4,970	▲ 2,918	4,968

借入金差額(借入収入-返済支出)958百万円(R)を除いた当年度の資金差額は▲2百万円(S)となります。

(3) 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当するもので、当該年度の事業活動における収入と支出の内容および、その均衡状態を明らかにするものです。法人の事業活動を経常的な活動(①教育研究診療活動、②財務活動、収益事業活動)と③臨時的な活動に区分し、それぞれの収支を把握します。

「基本金組入前当年度収支差額」は、当該年度の短期的な収支バランス(いわゆる、黒字なのか、赤字なのか)を示しています。また、当該年度の基本金増減を加味した「翌年度繰越収支差額」は、長期的視点による収支バランスで、将来にわたり永続的な事業活動を維持するためには、収支均衡状態に近づくことが理想とされます。

単位(百万円)

●経常収支 (教育活動収支)		2025決算 ①	2025当初 ②	2024決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金	4,293	4,274	4,260	19	33
	寄付金	792	254	184	538	608
	経常費等補助金	3,755	2,351	2,558	1,404	1,197
	医療収入	70,780	71,775	66,167	▲995	4,613
	その他の収入	2,894	2,519	2,767	375	127
	収入合計(A)	82,514	81,173	75,936	1,341	6,578
支出	人件費	32,477	31,932	31,939	545	538
	教育研究経費	3,476	3,412	3,461	64	15
	医療経費	45,514	44,711	42,843	803	2,671
	管理経費	1,810	1,837	2,477	▲27	▲667
	その他の支出	36	33	11	3	25
	(減価償却額)	(4,788)	(4,858)	(4,576)	▲70	212
支出合計(B)	83,313	81,925	80,731	1,388	2,582	
収支差額(C=A-B)	▲799	▲752	▲4,795	▲47	3,996	

学校法人の本業である教育活動(研究・診療含む)の収入は、医療収入増加や物価高騰に対する支援など経常費等補助金増より前年比増の**82,514百万円(A)**となりました。

支出は、前年度は東横病院閉院関連経費や大学病院外来棟・エントランス棟移転経費など特殊要因があったにもかかわらず、医薬品や衛生材料費など材料費や委託費の増加などにより、前年比増となりました。ただし収入の伸びが経費の伸びを上回ったため、**教育活動収支差額は、▲799百万円(C)**の赤字ではありますが、**前年比で3,996百万円改善**しました。

●経常収支(教育活動外収支) ※財務活動収支、収益事業活動収支		2025決算	2025当初	2024決算	差異	差異
収入	受取利息・配当金他	100	42	48	58	52
	収益事業収入	0	0	0	0	0
	収入合計(D)	100	42	48	58	52
支出	借入金等利息	579	576	434	3	145
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出合計(E)	579	576	434	3	145
収支差額(F=D-E)	▲479	▲534	▲386	55	▲93	
経常収支差額(G=C+F)	▲1,278	▲1,286	▲5,181	8	3,903	

また、財務活動による収入100百万円(D)は金利上昇や特定資産の債券運用などにより前年度に比べ増加も、リニューアル事業借入の借入金等利息579百万円と支出増のため、**教育活動外収支差額は▲479百万円(F)**、教育活動収支差額と合わせた**経常収支差額は▲1,278百万円(G)**となりました。

●特別収支 ※臨時的な活動収支

収入	資産売却差額	1	0	5,876	1	▲5,875
	寄付金・補助金収入	185	146	453	39	▲268
	その他の収入	1	0	4	1	▲3
	収入合計(H)	187	146	6,333	41	▲6,146
支出	資産処分差額	365	10	2,511	355	▲2,146
	その他の支出	1,766	0	143	1,766	1,623
	支出合計(I)	2,131	10	2,654	2,121	▲523
特別収支差額(J=H-I)	▲1,944	136	3,679	▲2,080	▲5,623	

前年度は東横病院不動産売却や病院本館等除却を計上した一方、今年度は解体中の大学病院本館アスベスト除去費など資産処分差額や、今年度から開始の賞与引当金の特別繰入1,757百万円など計上し、**特別収支差額は▲1,944百万円(J)**となりました。

基本金組入前当年度収支差額(K=G+J-Q-R)	▲3,222	▲1,150	▲1,502	▲2,072	▲1,720
基本金組入額(L)	▲1,283	▲1,460	▲336	177	▲947
当年度収支差額(M=K+L)	▲4,505	▲2,610	▲1,838	▲1,895	▲2,667
前年度繰越収支差額(N)	▲51,075	▲47,666	▲65,919	▲3,409	14,844
基本金取崩額(O)	760	0	16,682	760	▲15,922
翌年度繰越収支差額(P=M+N+O)	▲54,820	▲50,276	▲51,075	▲4,544	▲3,745

この結果、事業活動収支差額は、前年度を1,720百万円下回る**▲3,222百万円(K)**となりました。

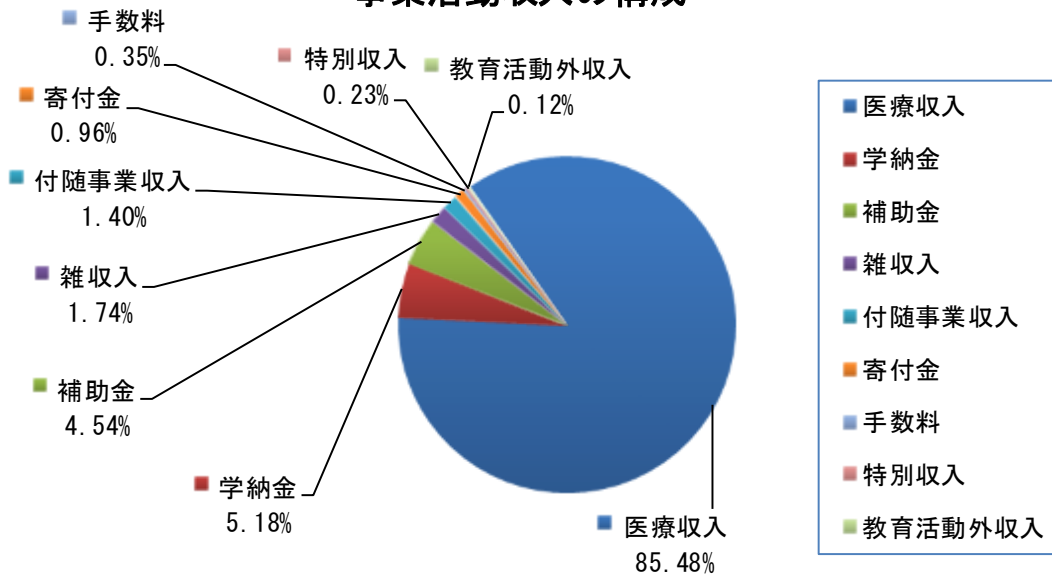
また、長期的収支均衡の指標となる翌年度繰越収支差額は、**▲54,820百万円(P)**となっています。

なお、成長性の指標の一つである事業活動収入は前年度を484百万円上回り、**82,801百万円(Q)**となりました。

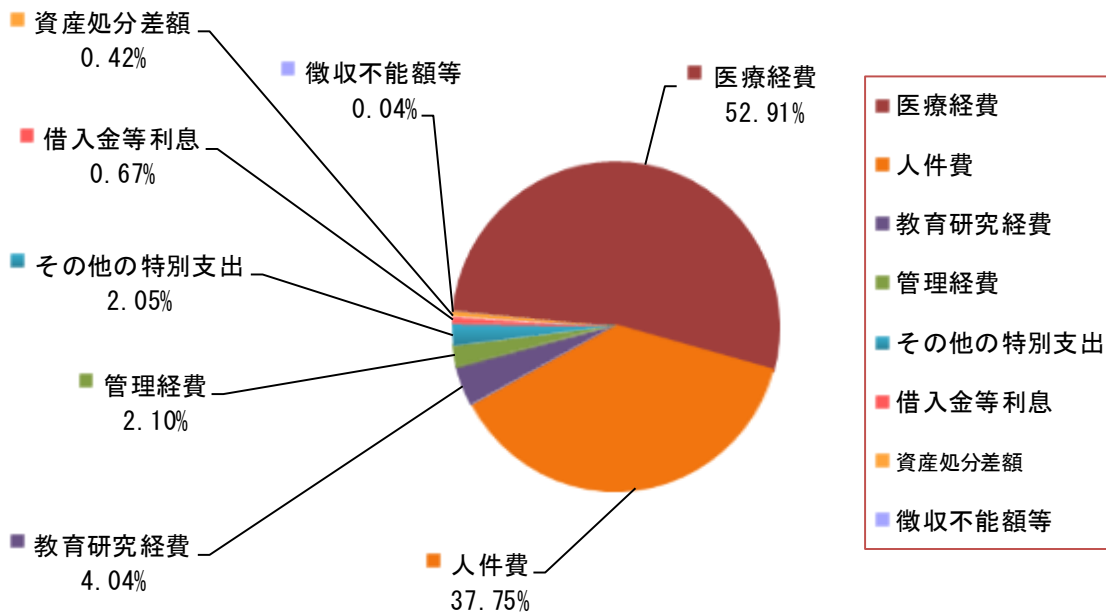
(参考)

事業活動収入計(Q)	82,801	81,361	82,317	1,440	484
事業活動支出計(R)	86,023	82,511	83,819	3,512	2,204

事業活動収入の構成



事業活動支出の構成



(4) 貸借対照表の概要

貸借対照表は、B/S(バランスシート)ともいわれ、年度末における法人の資産・負債・純資産の全てを表示し、法人の財政状態を表します。固定資産や流動資産といった財産の運用形態と、その調達源泉を示しています。負債は、将来返さなければならない他人のお金であり、純資産は、返す必要のない法人の自己資金にあたります。(事業活動収支計算書における基本金組入前当年度収支差額は、前年度末と当該年度末の自己資金の増減と一致します。)

単位(百万円)

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
固定資産	80,389	83,761	▲ 3,372	固定負債	59,090	60,073	▲ 983
有形固定資産	61,517	64,952	▲ 3,435	長期借入金	46,599	47,435	▲ 836
土地・建物・構築物	84,969	84,876	93	退職給与引当金	12,491	12,637	▲ 146
機器備品	26,175	26,202	▲ 27	その他の負債	0	1	▲ 1
その他の資産	2,548	2,546	2	流動負債	21,624	17,074	4,550
減価償却累計額	▲ 52,175	▲ 48,672	▲ 3,503	短期借入金	2,436	642	1,794
特定資産	15,976	15,341	635	未払金	15,412	14,667	745
その他の固定資産	2,896	3,468	▲ 572	その他の負債	3,776	1,765	2,011
有価証券	116	116	0	負債の部合計	80,714	77,147	3,567
収益事業元入金	111	111	0	基本金	87,206	86,683	523
その他の資産	2,669	3,241	▲ 572	1号基本金	81,042	80,562	480
				2号基本金	0	0	0
流動資産	32,711	28,994	3,717	3号基本金	550	507	43
現金・預金	14,518	13,562	956	4号基本金	5,614	5,614	0
その他の資産	18,193	15,432	2,761	繰越収支差額	▲ 54,820	▲ 51,075	▲ 3,745
				純資産の部合計	32,386	35,608	▲ 3,222
合計	113,100	112,755	345	合計	113,100	112,755	345

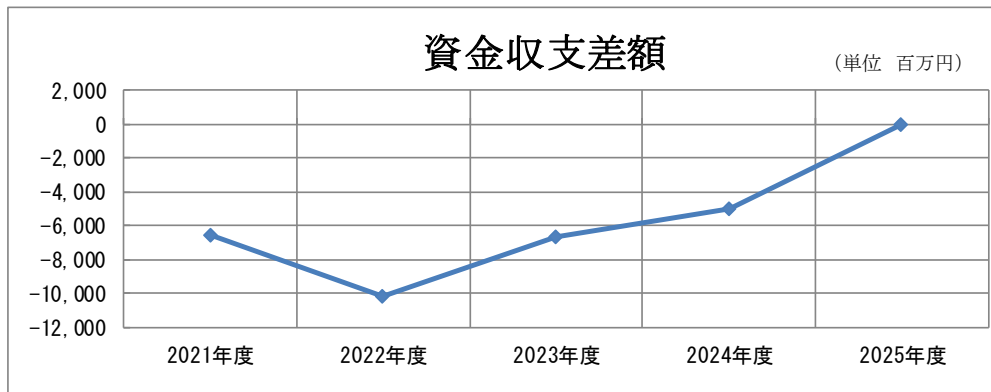
(5) 財務比率などの推移

① 資金収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
学納金	4,311	4,252	4,230	4,260	4,293
補助金	8,833	5,378	3,161	2,703	3,922
医療収入	60,423	60,701	65,564	66,167	70,780
その他	10,005	9,933	6,091	14,867	10,949
資金収入計	83,572	80,264	79,046	87,997	89,944
人件費	30,761	31,656	32,401	31,898	32,472
教育研究経費	2,641	3,151	2,694	3,070	3,093
医療経費	32,884	35,855	36,845	38,632	41,202
その他	23,871	19,795	13,794	19,367	13,179
資金支出計	90,157	90,457	85,734	92,967	89,946
資金収支差額	△ 6,585	△ 10,193	△ 6,688	△ 4,970	△ 2

※繰越支払資金・借入金収入及び返済支出は含まず



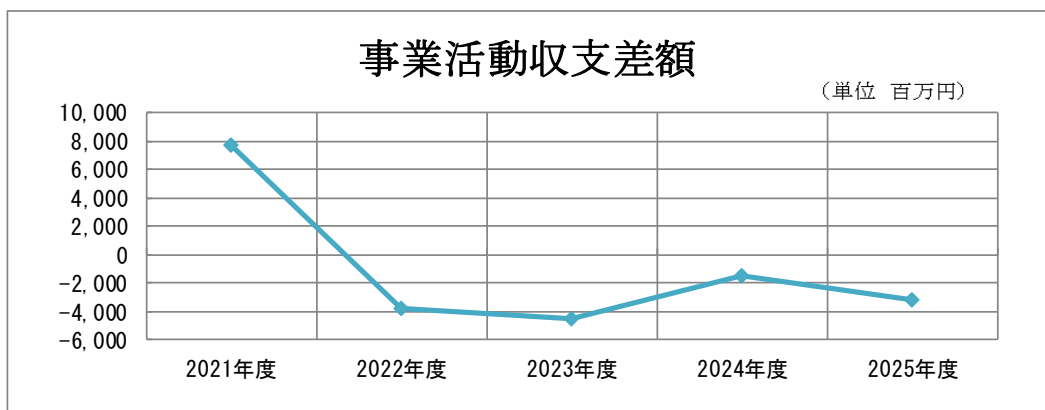
② 事業活動収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
学納金	4,311	4,252	4,230	4,260	4,293
補助金	8,833	5,378	3,161	2,703	3,921
医療収入	60,423	60,701	65,564	66,167	70,780
その他	5,382	2,973	3,209	9,187	3,807
事業活動収入計	78,949	73,304	76,164	82,317	82,801
人件費	30,978	31,881	32,382	31,939	32,477
教育研究経費	3,122	3,553	3,095	3,461	3,476
医療経費	35,122	38,787	42,924	42,843	45,514
その他	2,044	2,842	2,303	5,576	5,576
事業活動支出計	71,266	77,063	80,704	83,819	86,023
事業活動収支差額	7,683	△ 3,759	△ 4,540	△ 1,502	△ 3,222

※事業活動収支差額

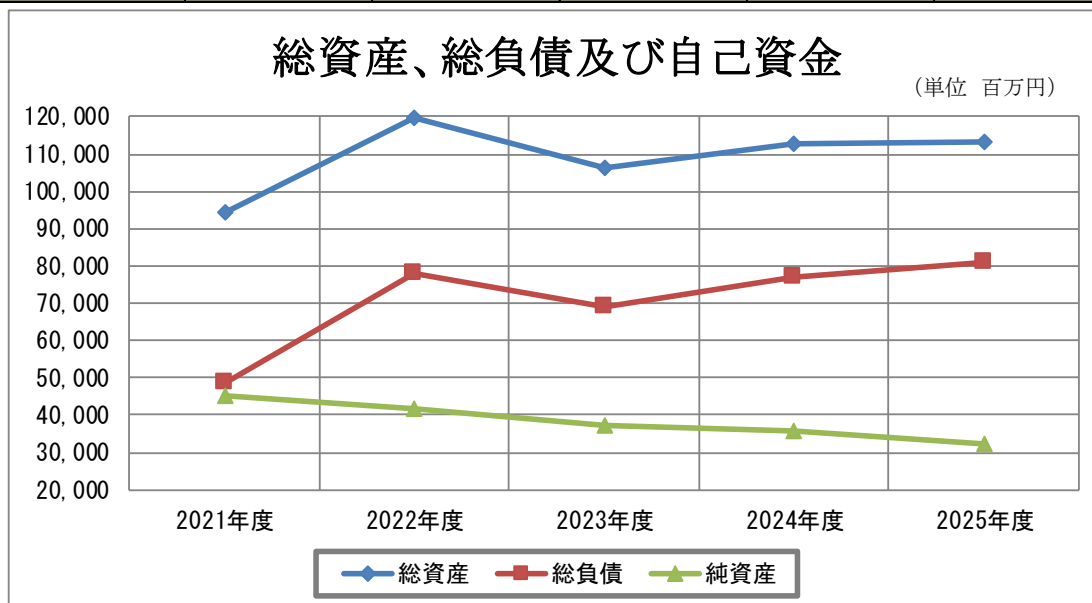
= 事業活動収入 - 事業活動支出



③財政状況表

(単位 百万円)

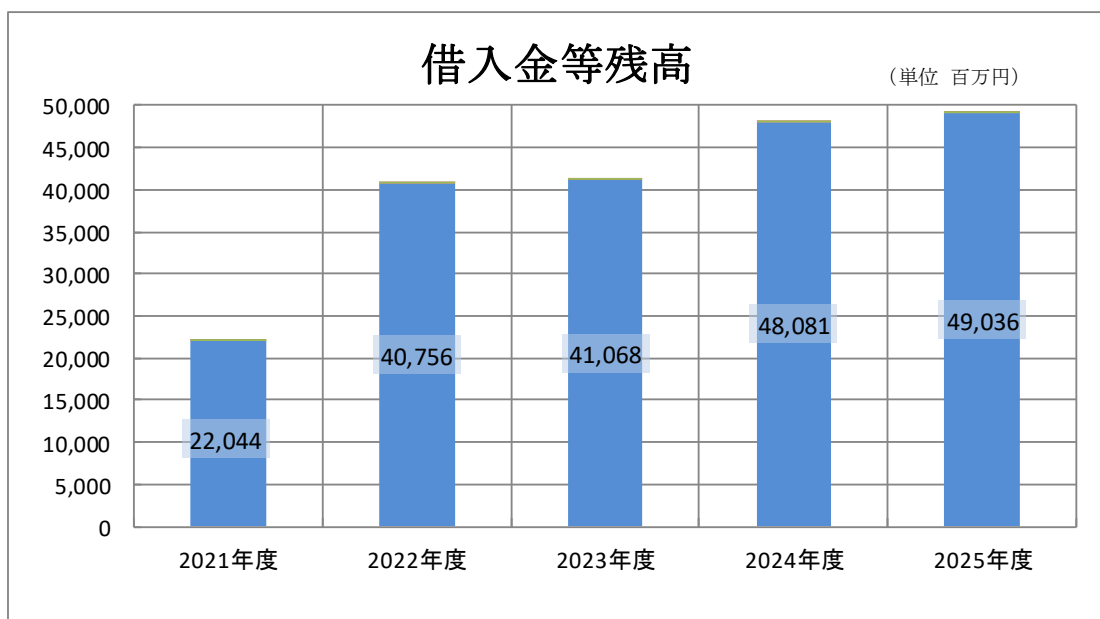
科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
固定資産	67,132	86,850	79,965	83,761	80,389
流動資産	27,124	32,721	26,292	28,994	32,711
総資産	94,256	119,571	106,257	112,755	113,100
固定負債	34,381	53,347	53,565	60,073	59,090
流動負債	14,466	24,574	15,582	17,074	21,624
総負債	48,847	77,921	69,147	77,147	80,714
純資産	45,409	41,650	37,110	35,608	32,386



④借入金等残高推移表

(単位 百万円)

科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
借入金	22,031	40,746	41,061	48,077	49,035
学校債	0	0	0	0	0
割賦	13	10	7	4	1
合計	22,044	40,756	41,068	48,081	49,036



⑤財務比率一覧

2021年度からの計算書関連比率表

(1) 貸借対照表関係比率

No.	比率名	算式	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	指標
1	固定資産構成比率	固定資産／総資産	71.2%	72.6%	75.3%	74.3%	71.1%	↓
2	有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	55.4%	59.1%	61.8%	57.6%	54.4%	↓
3	特定資産構成比率	特定資産／総資産	12.8%	10.1%	9.6%	13.6%	14.1%	↑
4	流動資産構成比率	流動資産／総資産	28.8%	27.4%	24.7%	25.7%	28.9%	↑
5	固定負債構成比率	固定負債／(総負債＋純資産)	36.5%	44.6%	50.4%	53.3%	52.2%	↑
6	流動負債構成比率	流動負債／(総負債＋純資産)	15.3%	20.6%	14.7%	15.1%	19.1%	↓
7	内部留保資産比率	(運用資産－総負債)／総資産	-29.0%	-40.0%	-44.5%	-42.7%	-44.3%	↓
8	運用資産余裕比率	(運用資産－外部負債)／経常支出	-18.1%	-43.1%	-40.6%	-41.6%	-40.3%	↑
9	純資産構成比率	純資産／(総負債＋純資産)	48.2%	34.8%	34.9%	31.6%	28.6%	↓
10	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額／(総負債＋純資産)	-53.5%	-48.5%	-62.0%	-45.3%	-48.5%	↓
11	固定比率	固定資産／純資産	147.8%	208.5%	215.5%	235.2%	248.2%	↑
12	固定長期適合率	固定資産／(純資産＋固定負債)	84.1%	91.4%	88.2%	87.5%	87.9%	↑
13	流動比率	流動資産／流動負債	187.5%	133.2%	168.7%	169.8%	151.3%	↓
14	総負債比率	総負債／総資産	51.8%	65.2%	65.1%	68.4%	71.4%	↓
15	負債比率	総負債／純資産	107.6%	187.1%	186.3%	216.7%	249.2%	↓
16	前受金保有率	現金預金／前受金	1043.7%	1901.0%	1315.5%	1532.0%	1510.3%	↓
17	退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	-	-	-	-	-	-
18	基本金比率	基本金／基本金要組入額	81.8%	71.1%	73.1%	71.0%	71.3%	↑
19	減価償却比率	減価償却累計額／減価償却資産取得価額	72.2%	50.6%	54.0%	46.0%	49.3%	↑
20	積立率	運用資産／要積立額	28.5%	38.5%	26.8%	44.0%	43.8%	↓

・運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

・要積立額＝減価償却累計額(ソフトウェア等含む)＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

(2) 事業活動収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	指標
1	人件費比率	人件費／経常収入	39.76%	43.72%	42.72%	42.03%	39.31%	↑
2	人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	718.58%	749.75%	765.57%	749.66%	756.51%	↓
3	教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	49.09%	58.07%	60.71%	60.94%	59.30%	↓
4	管理経費比率	管理経費／経常収入	2.49%	3.67%	2.42%	3.26%	2.19%	↑
5	借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.10%	0.14%	0.45%	0.57%	0.70%	↓
6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	9.73%	-5.13%	-5.96%	-1.82%	-3.89%	↓
7	基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	93.47%	111.24%	110.88%	102.24%	105.53%	↓
8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	5.53%	5.83%	5.58%	5.61%	5.20%	↑
9	寄付金比率	寄付金／事業活動収入	0.54%	0.61%	0.63%	0.60%	0.98%	↑
10	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金／経常収入	0.34%	0.32%	0.36%	0.24%	0.96%	↑
11	補助金比率	補助金／事業活動収入	11.19%	7.34%	4.15%	3.28%	4.74%	↑
12	経常補助金比率	教育活動収支の補助金／経常収入	10.21%	7.16%	3.96%	3.37%	4.55%	↑
13	基本金組入率	基本金組入額／事業活動収入	3.42%	5.49%	4.44%	0.41%	1.55%	↑
14	減価償却額比率	減価償却額／経常支出	3.69%	3.96%	7.98%	5.64%	5.71%	↓
15	経常収支差額比率	経常収支差額／経常収入	8.54%	-5.61%	-6.31%	-6.82%	-1.55%	↑
16	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額／教育活動収入計	5.53%	-5.51%	-5.91%	-6.31%	-0.97%	↑

(注) ・経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

・経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

(3) 活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	指標
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額／教育活動資金収入計	9.77%	3.60%	1.93%	1.24%	4.09%	↑

(注) 教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋教育活動調整勘定等

3. 収益事業会計（多摩病院）

(1) 貸借対照表

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
流動資産	2,880	2,856	24	流動負債	6,555	3,949	2,606
現金・預金	1,046	974	72	未払金他	6,555	3,949	2,606
未収入金	1,714	1,750	▲ 36	固定負債	2,557	2,556	1
その他	120	132	▲ 12	退職給与引当金	2,557	2,556	1
固定資産	2,294	1,075	1,219	負債の部合計	9,112	6,505	2,607
有形固定資産	3,473	3,115	358	純資産	▲ 3,938	▲ 2,574	▲ 1,364
減価償却累計額	▲ 1,766	▲ 2,125	359	元入金	111	111	0
その他	587	85	502	繰越利益剰余金	▲ 4,049	▲ 2,685	▲ 1,364
			0	純資産の部合計	▲ 3,938	▲ 2,574	▲ 1,364
合計	5,174	3,931	1,243	合計	5,174	3,931	1,243

(2) 損益計算書

		2025決算 ①	2025当初 ②	2024決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収 益	医療収入	11,098	10,870	10,687	228	411
	補助金	956	770	769	186	187
	その他	211	172	173	39	38
	小計	12,265	11,812	11,629	453	636
費 用	医療経費	5,087	4,791	4,811	296	276
	人件費	6,350	6,310	6,579	40	▲ 229
	(医師)	(1,425)	(1,517)	(1,472)	(▲ 92)	(▲ 47)
	負担金	769	756	756	13	13
	その他	1,423	1,155	1,117	268	306
	小計	13,629	13,012	13,263	617	366
当期純利益		▲ 1,364	▲ 1,200	▲ 1,634	▲ 164	270

川崎市立多摩病院における診療活動は、収益事業として、学校法人会計から経理を区分しています。

医師の人件費が100%計上される収益事業会計は、当期純利益が▲1,364百万円であったため、学校法人へ繰入れを行わず、利益剰余金として繰り越しました。その結果、期末純資産は元入金の111百万円と合算した▲3,938百万円となります。

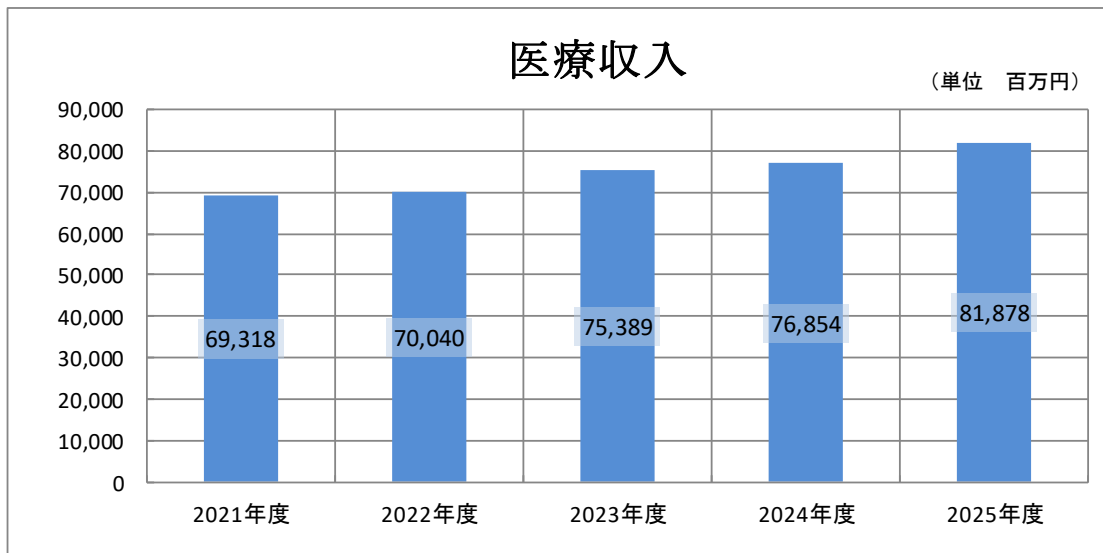
4. 附属病院等の状況

(1) 医療収入推移表

(単位 百万円)

部門	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
大学病院	40,265	40,214	44,824	47,878	51,445
東横病院	3,708	3,555	2,706		
西部病院	15,270	15,812	16,836	17,208	18,239
B&I先端医療センター 附属クリニック	1,180	1,120	1,198	1,081	1,096
多摩病院	8,895	9,339	9,825	10,687	11,098
※合計	69,318	70,040	75,389	76,854	81,878

※医療収入合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療収入額とは一致しません

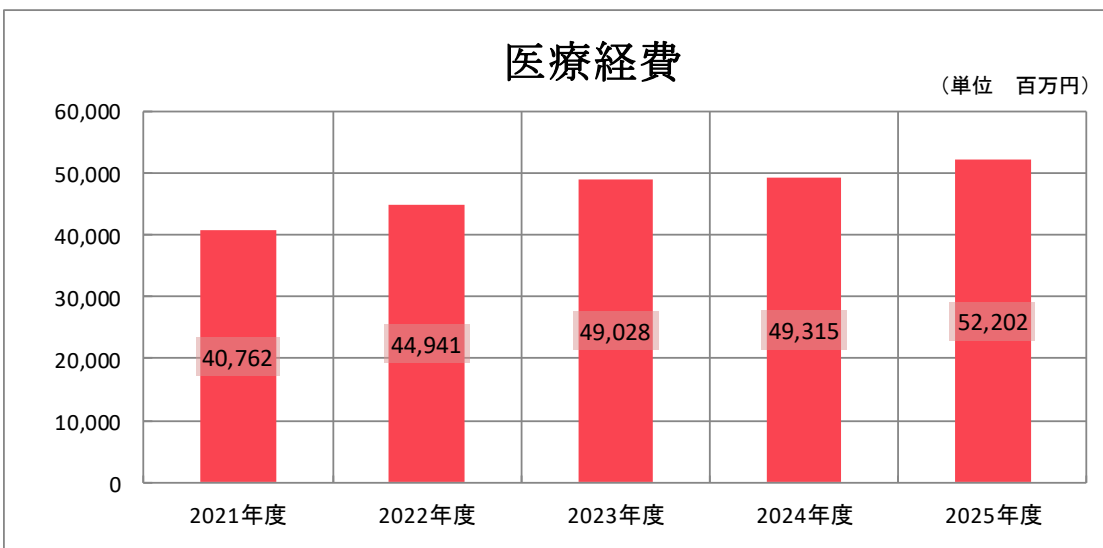


(2) 医療経費推移表

(単位 百万円)

部門	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
大学病院	22,053	25,292	27,965	30,989	33,067
東横病院	1,948	1,926	3,286		
西部病院	10,213	10,671	10,736	10,980	11,556
B&I先端医療センター 附属クリニック	908	898	937	874	891
多摩病院	5,640	6,154	6,104	6,472	6,688
※合計	40,762	44,941	49,028	49,315	52,202

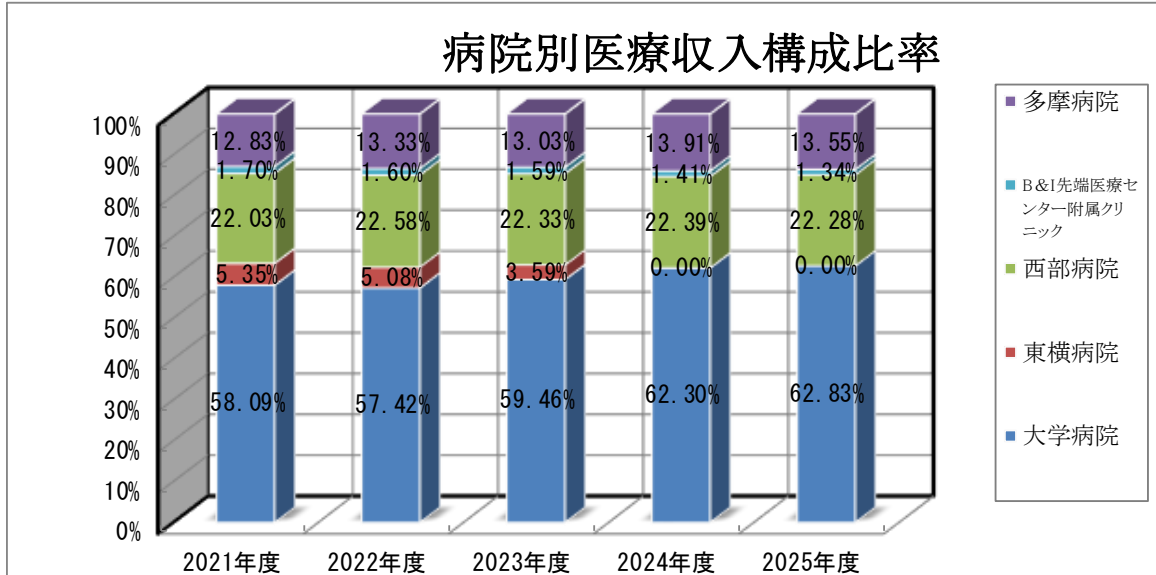
※医療経費合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費額とは一致しません



(3) 病院別医療収入構成比率推移表

部 門	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
大学病院	58.09%	57.42%	59.46%	62.30%	62.83%
東横病院	5.35%	5.08%	3.59%	0.00%	0.00%
西部病院	22.03%	22.58%	22.33%	22.39%	22.28%
B&I先端医療センター附属クリニック	1.70%	1.60%	1.59%	1.41%	1.34%
多摩病院	12.83%	13.33%	13.03%	13.91%	13.55%
※ 合 計	100%	100%	100%	100%	100%

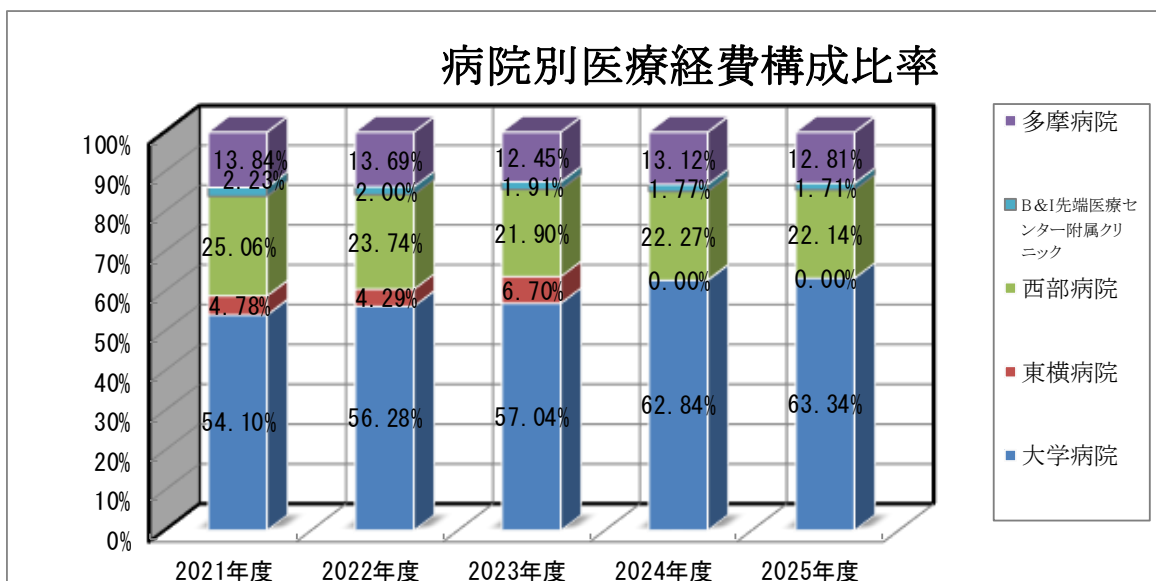
※医療収入構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため資金収支計算書及び事業活動収支計算書の医療収入構成比率とは一致しません



(4) 病院別医療経費構成比率推移表

部 門	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
大学病院	54.10%	56.28%	57.04%	62.84%	63.34%
東横病院	4.78%	4.29%	6.70%	0.00%	0.00%
西部病院	25.06%	23.74%	21.90%	22.27%	22.14%
B&I先端医療センター附属クリニック	2.23%	2.00%	1.91%	1.77%	1.71%
多摩病院	13.84%	13.69%	12.45%	13.12%	12.81%
※ 合 計	100%	100%	100%	100%	100%

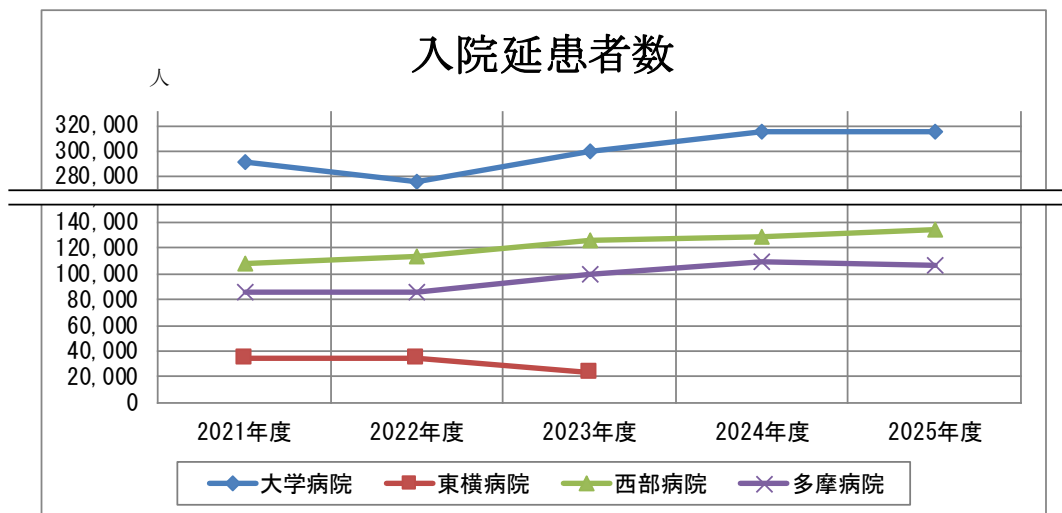
※医療経費構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費構成比率とは一致しません



(5) 病院別入院延患者数

(単位 人)

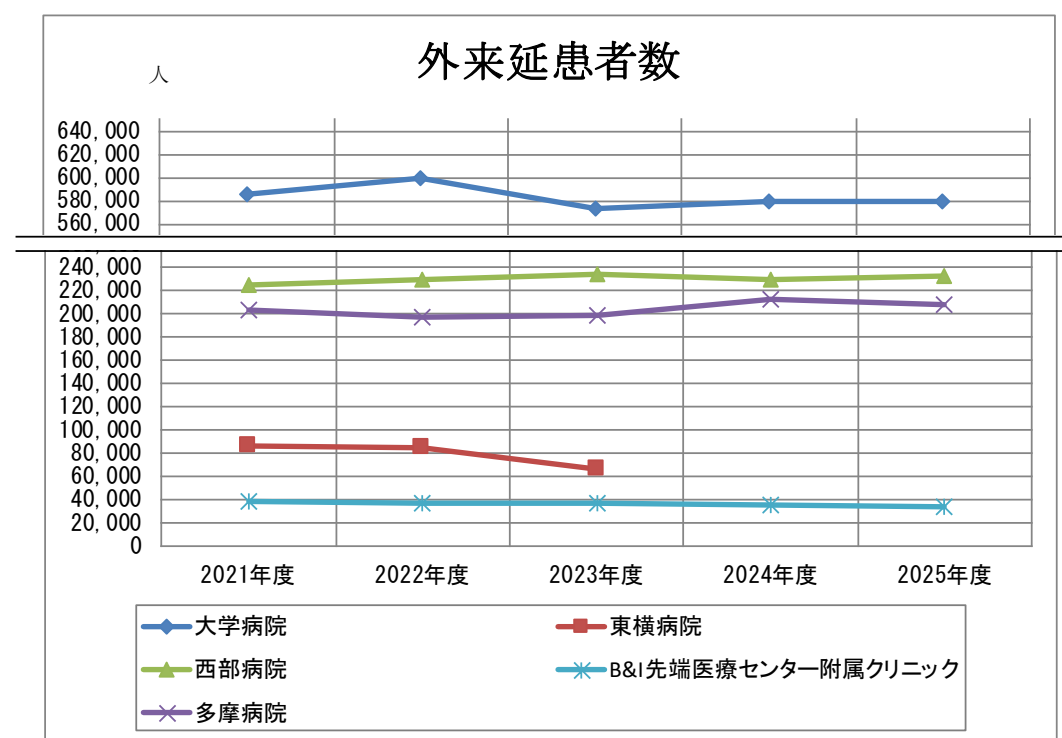
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
大学病院	291,224	276,215	299,601	315,723	315,017
東横病院	34,406	34,244	23,436		
西部病院	107,594	114,226	125,840	128,534	134,125
多摩病院	85,463	85,225	100,023	108,790	107,137
合計	518,687	509,910	548,900	553,047	556,279



(6) 病院別外来延患者数

(単位 人)

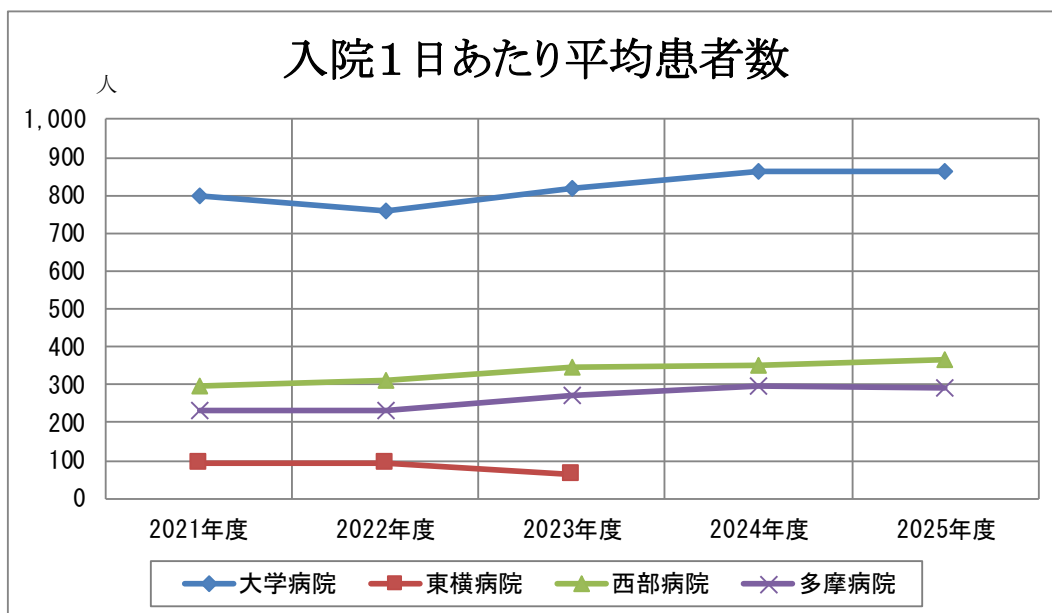
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
大学病院	585,907	599,455	572,777	578,989	579,853
東横病院	85,556	83,951	65,487		
西部病院	224,186	229,983	234,614	229,789	232,530
B&I先端医療センター附属クリニック	37,659	36,512	36,006	34,349	32,792
多摩病院	203,135	197,226	198,131	212,605	207,246
合計	1,136,443	1,147,127	1,107,015	1,055,732	1,052,421



(7) 病院別入院1日あたり平均患者数

(単位 人)

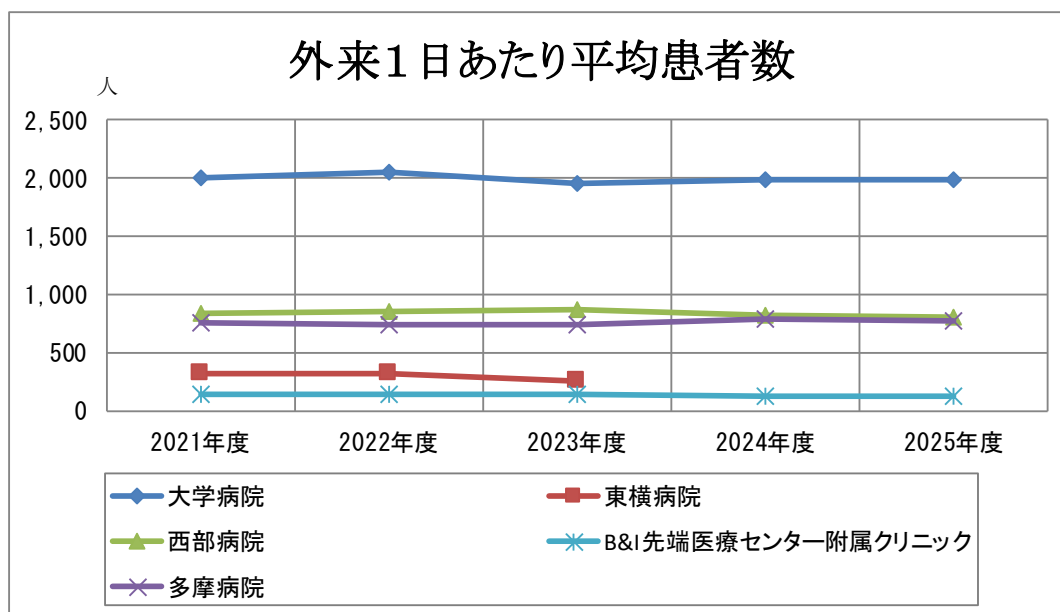
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
大学病院	798	757	819	865	863
東横病院	94	94	64		
西部病院	295	313	344	352	368
多摩病院	234	233	273	298	294



(8) 病院別外来1日あたり平均患者数

(単位 人)

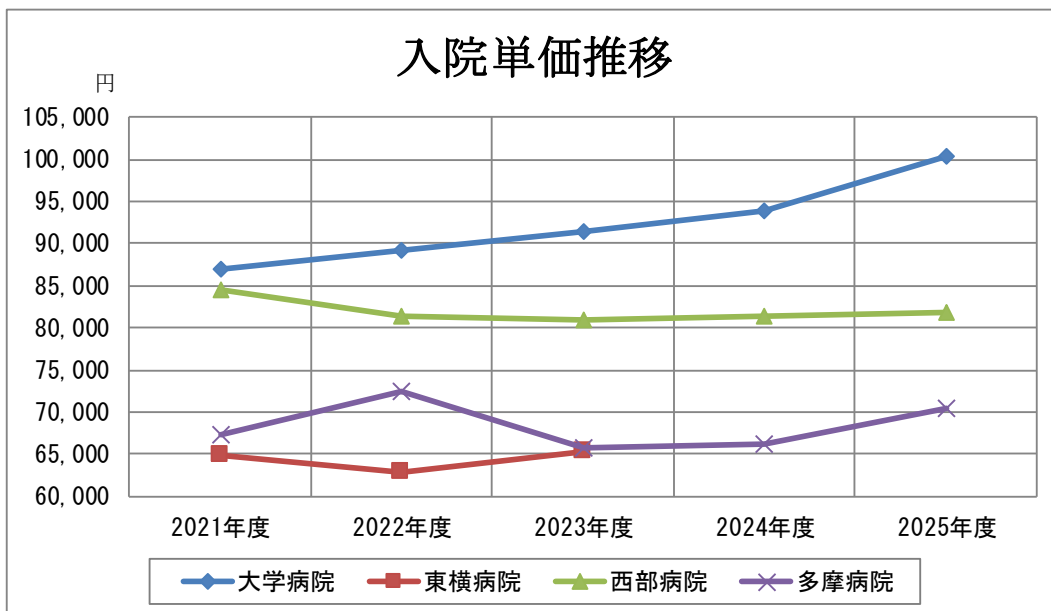
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
大学病院	2,007	2,053	1,962	1,983	1,993
東横病院	318	313	251		
西部病院	833	858	875	824	799
B&I先端医療センター 附属クリニック	140	136	134	128	122
多摩病院	755	736	739	790	770



(9) 病院別入院単価推移

(単位 円)

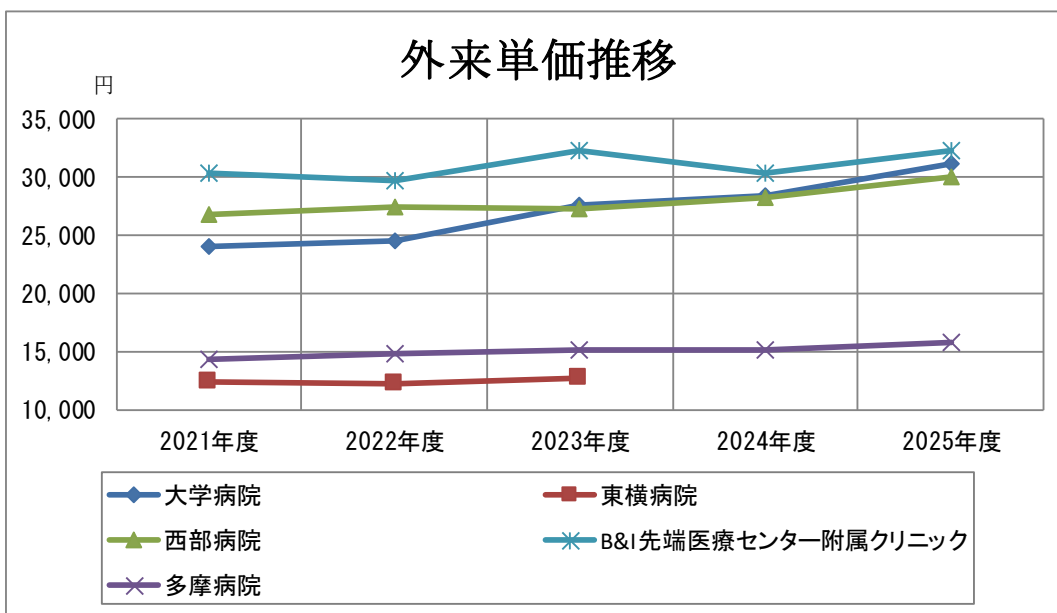
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
大学病院	87,086	89,112	91,363	94,007	100,386
東横病院	64,861	62,770	65,361		
西部病院	84,539	81,400	80,975	81,413	81,920
多摩病院	67,224	72,384	65,725	66,179	70,531
法人平均	75,928	76,417	75,856	80,533	84,279



(10) 病院別外来単価推移

(単位 円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
大学病院	24,066	24,511	27,619	28,452	31,131
東横病院	12,325	12,141	12,727		
西部病院	26,867	27,456	27,288	28,220	29,990
B&I先端医療センター附属クリニック	30,384	29,699	32,249	30,348	32,315
多摩病院	14,283	14,836	15,066	15,101	15,757
法人平均	21,585	21,729	22,990	25,530	27,298



所在地

学校法人 聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学病院

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

〒 241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1

TEL 045-366-1111(代)

川崎市立多摩病院（指定管理者病院）

〒 214-8525 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

TEL 044-933-8111(代)

聖マリアンナ医科大学看護専門学校

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学附属研究所 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

〒 215-0004 川崎市麻生区万福寺 6-7-2 3階・4階

TEL 044-969-7720(代)

ホームページ <https://www.marianna-u.ac.jp/>